

hp
xp8010 series
digital projector



リファレンスガイド

ご注意

本書の記載内容は、予告なしに変更される可能性があります。HP製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の明示的保証規定に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対しては責任を負いかねますのでご了承ください。

オーストラリアおよび英国における消費者取引:上記の免責事項および制限は、オーストラリアおよび英国における消費者取引には該当せず、消費者の法的権利に影響しません。

© Copyright 2003, 2004 Hewlett-Packard Development Company, L.P. 著作権法で許可されている場合を除いて、ヒューレット・パッカード社の事前の書面による許可なく本書の複製、翻案、翻訳を行うことは禁止されています。

本製品を制御するプログラムは著作権で保護されています。
ヒューレット・パッカード社の事前の書面による許可なくこれらのプログラムを複製、翻案、翻訳することも禁止されています。

Microsoft®およびWindows®は、Microsoft Corporationの米国における登録商標です。Adobe®およびAcrobat®は、Adobe Systems Incorporatedの商標です。

Hewlett-Packard Company
Digital Projection and Imaging
1000 NE Circle Blvd.
Corvallis, OR 97330

第2版(April 2004)

1 設置とセットアップ

内容物	8
主な機能の説明	9
プロジェクタ全体図	10
プロジェクタのボタンとライト	11
バックパネル	12
リモコン	14
アクセサリ	16
設置場所の選択	17
卓上に設置するには	18
天井に設置するには	18
背面投影用に設置するには	21
ケーブルカバーを取り付けるには	22
電源のオン/オフ	23
電源を接続するには	23
プロジェクタの電源をオンにするには	24
プロジェクタの電源をオフにするには	25
リモコンを操作するには	25
プロジェクタをリセットするには	26
プロジェクタを最初に接続するとき	27
入力ソースを接続するには	27
出力装置を接続するには	32
制御機器を接続するには	33
プロジェクタの設定	34
設定を変更するにはオンスクリーンメニューを使います。	34
ネットワークアクセスをセットアップするには	35
プロジェクタの固定	36

2 調整

基本調整	37
プロジェクタの投影位置を調整するには	38
焦点とズームを調整するには	39
オーディオを調整するには	39
画像の調整	40
画像の種類に応じて投影画像を調整するには	40
その他の画像設定を調整するには	40
ウェブから調整を実行するには	41

3 プレゼンテーション

接続と準備	43
VGAケーブルを使ってコンピュータを接続するには	44
携帯端末を接続するには	45
その他のケーブルを使ってコンピュータを接続するには	46
その他のビデオソースを接続するには	48
プレゼンテーションの表示	49
コンピュータからプレゼンテーションを行うには	49
ソースを変更するには	50
画面を非表示または再表示するには	50
接続の解除	51

4 システム管理

プロジェクタの管理	53
IPアドレスを調べるには	53
プロジェクタの基本プロパティの設定	54
電子メール通知の設定	55
設定変更を保護するには	55
プロジェクタのアップグレード	56
ファームウェアをアップデートするには	56
追加レンズを取り付けるには	57
接続モジュールを交換するには	59

5 メンテナンス

オンスクリーンメニューの使用法	61
クイックセレクトメニュー	62
入力メニュー	62
画像調整メニュー	64
オーディオメニュー	66
セットアップメニュー	66
ヘルプメニュー	67
日常のメンテナンス	68
プロジェクタのステータスを見るには	68
プロジェクタのレンズを清掃するには	68
ランプモジュールを交換するには	69
リモコンの電池を交換するには	70

6 トラブルシューティング

トラブルシューティングのヒント	71
始動時の問題	72
画像の問題	73
音声の問題	77
停止の問題	78
リモコンの問題	79
ネットワークの問題	79
プロジェクタのテスト	81
プロジェクタ診断テストを実行するには	81

7 リファレンス

仕様	83
安全情報	90
安全上の注意	90
レーザの安全性	90
LEDの安全性	91
水銀の安全性	91

規制情報	92
日本	92
国際	93

索引

設置とセットアップ

この章では、HPデジタルプロジェクタの設置とセットアップ方法について説明します。
プレゼンテーションのために臨時にプロジェクタをセットアップする場合は、第3章「プレゼンテーション」を参照してください。

この章の内容:

- 「主な機能の説明」 9ページ
- 「設置場所の選択」 17ページ
- 「電源のオン/オフ」 23ページ
- 「プロジェクタを最初に接続するとき」 27ページ
- 「プロジェクタの設定」 34ページ
- 「プロジェクタの固定」 36ページ

内容物

プロジェクターをセットアップする前に、梱包ケースに以下の品目が入っていることを確認してください。以下のいずれかの品目が不足している場合は、HPまでご連絡ください。



内容物の説明

番号	名称	機能
①	プロジェクター	画像を表示します。
②	ケーブルカバー	ケーブルのコネクタ部分を覆います。
③	ドキュメンテーションCD	プロジェクターのドキュメント類を収録しています。
④	保証およびサポートガイド	保証とサポートに関する情報を提供します。
⑤	クイックセットアップガイド	セットアップの手順が記載されています。
⑥	リモコン	プロジェクターを操作します。
⑦	単4電池2個	リモコンの電源を供給します。
⑧	VGAケーブル	プロジェクターとコンピュータを接続します。
⑨	電源コード	プロジェクターを電源に接続します。

主な機能の説明

このセクションでは、プロジェクタの一般的な機能について説明します。以下の項目があります。

- 「プロジェクタ全体図」 10ページ
- 「プロジェクタのボタンとライト」 11ページ
- 「バックパネル」 12ページ
- 「リモコン」 14ページ
- 「アクセサリ」 16ページ

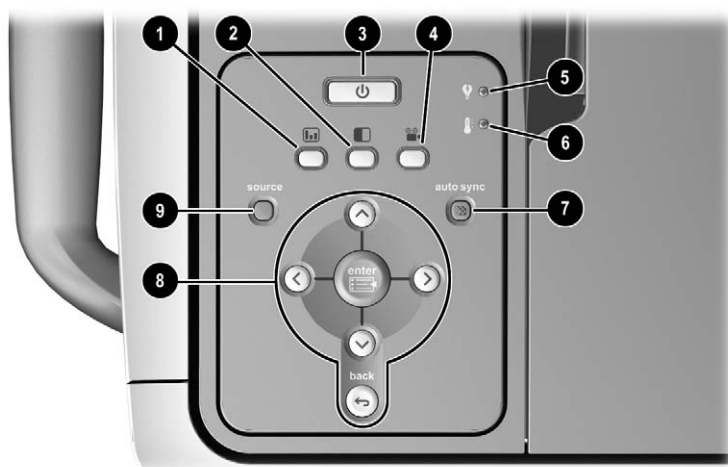
プロジェクタ全体図



プロジェクタの各部分の説明

番号	名称	機能
①	赤外線受光部	リモコンからの信号を受信します。
②	カバーラッチ	ランプモジュールや接続モジュールの交換の際にカバーを外すために使います。
③	コントロールパネル	ボタンとライトが配置されています。
④	ズームリング	画像のサイズを100%～120%の範囲で拡大します。
⑤	フォーカスリング	1.5～14 mの範囲で焦点を調節します。
⑥	レンズカバー	レンズを保護します。
⑦	高さ調節	画像の高さを調節します。

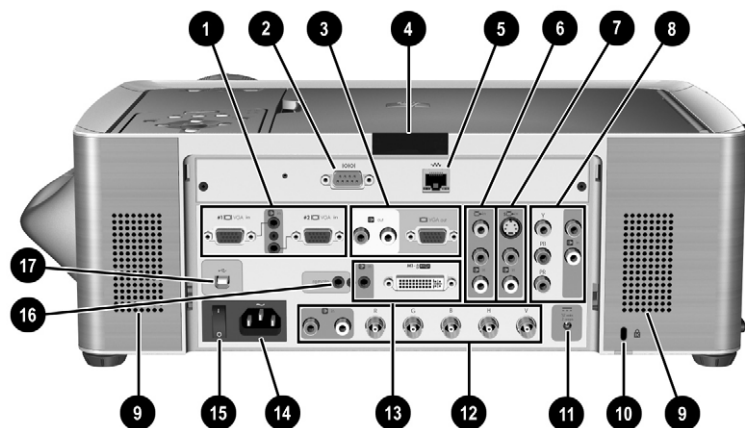
プロジェクタのボタンとライト



プロジェクタのボタンとライトの説明

番号	名称	機能
①	ビジネスグラフィックスボタン	データ入力に合わせて画像を最適化します。
②	超輝度ボタン	輝度を最大にします (グレースケール画像)。
③	電源ボタン	プロジェクタの電源をオン/オフします。ウォームアップおよびクールダウン中は点滅します。
④	シアタービデオボタン	ビデオ入力に合わせて画像を最適化します。
⑤	ランプ警告ライト	ランプが切れたときに点灯します。
⑥	温度警告ライト	内部温度が高くなりすぎたときに点灯します。
⑦	Auto sync (自動同期) ボタン	プロジェクタを入力信号に再同期させます。
⑧	Enter (入力) ボタン、 back (バック) ボタン、 矢印ボタン	オンスクリーンメニューを使ってプロジェクタ設定を変更します。
⑨	Source (ソース) ボタン	次の入力ソースに切り替えます。

バックパネル



バックパネルの説明

番号	名称	機能
①	VGA1、VGA2入力コネクタ	デスクトップ/ノートブックコンピュータやポケットPCを接続します。
②	RS232ポート	制御機器を接続します。ファームウェアのアップグレードにも用いられます。
③	VGA出力およびオーディオ出力端子	モニターまたは他のプロジェクタに接続します。アンプ付きスピーカまたはオーディオ機器に接続します。
④	赤外線受光部	リモコンからの赤外線信号を受信します。
⑤	LANポート	プロジェクタをネットワークに接続します。
⑥	コンポジットビデオ入力端子	ビデオデッキなどの装置を接続します。
⑦	Sビデオ入力端子	ビデオデッキやビデオカメラなどの装置を接続します。
⑧	コンポーネントビデオ入力端子	YPbPr出力を持つ高性能DVDプレーヤやHDTV装置などを接続します。

バックパネルの説明 (続き)

番号	名称	機能
⑨	スピーカ	ステレオ音声を出力します。
⑩	セキュリティスロット	ケーブルロックを使ってプロジェクタを固定します。
⑪	制御パワー出力端子	モータースクリーンなどの装置を制御します。
⑫	アナログビデオ入力端子	RGB、RGBS、RGBHV、YPbPr出力を持つさまざまな機器を接続します。
⑬	M1入力端子	アナログおよびデジタルビデオ出力を持つさまざまな機器を接続します。USBデバイス出力もサポートします。
⑭	主電源	プロジェクタの電源コードを接続します。
⑮	主電源切断スイッチ	電源を切断します。電源コードを抜くときだけオフにしてください。
⑯	リモート入力端子	リアプロジェクションの場合など、リモコン用にコードを接続するために使います。
⑰	USBデバイス出力端子	リモコンのマウスおよびキーボード信号をコンピュータに送ります。

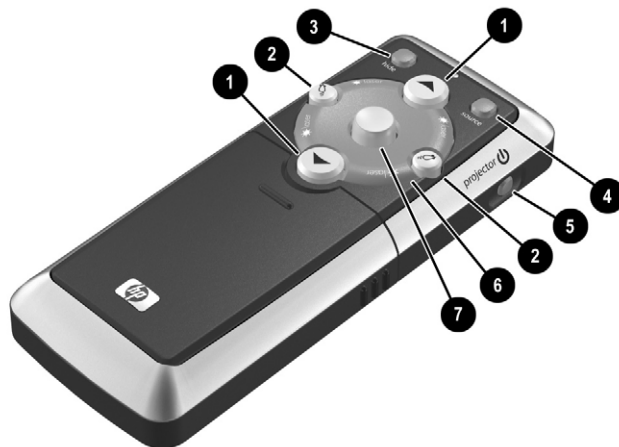


特定モデルには追加ポートを搭載したL1581A拡張接続モジュールが付属しています。このモジュールの使用方法については、L1581Aのマニュアルを参照してください。

リモコン



リモコンを使用する前に、単4電池2個を装着してください。

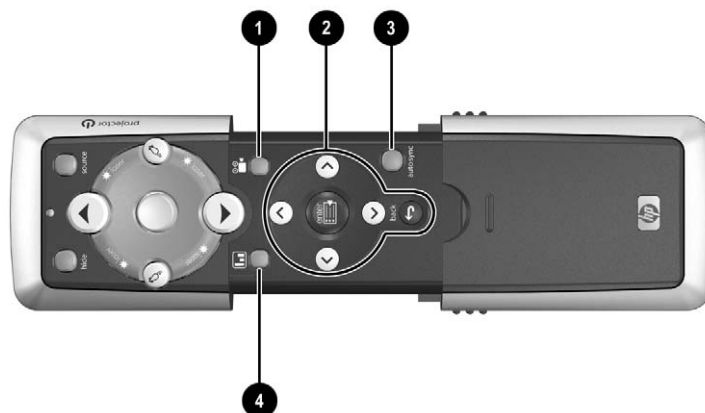


リモコンの説明 (ケースを閉じた状態)

番号	名称	機能
①	ページアップ、ページダウン	接続したコンピュータのページを上下にスクロールします。
②	マウス左クリックおよび右クリック機能	接続したコンピュータの左クリックおよび右クリック機能を実行します。
③	Hide (非表示)	画面を非表示にします。
④	Source (ソース)	次の入力ソースに切り替えます。
⑤	電源	プロジェクタの電源をオン/オフします。
⑥	レーザリング	レーザポインタをオンにします。
⑦	マウスボタン	接続したコンピュータのマウスポインタを動かします。



警告: 目を痛めないよう、リモコンのレーザ光を直接のぞき込んだり、レーザ光線を人の目に向けたりしないでください。



リモコンの説明 (ケースを開いた状態)

番号	名称	機能
①	シアタービデオボタン	ビデオ入力に合わせて画像を最適化します。
②	メニューボタン	オンスクリーンメニューを使ってプロジェクタ設定を変更します。
③	Auto sync (自動同期)	プロジェクタを入力信号に再同期させます。
④	ビジネスグラフィックスボタン	データ入力に合わせて画像を最適化します。

アクセサリ

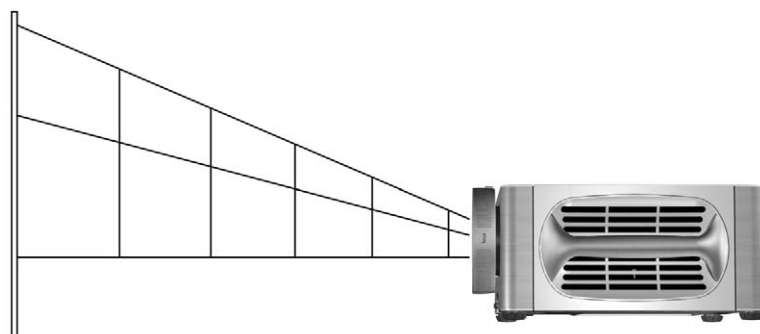
HP プロジェクタの別売アクセサリの一部を下に示します。

- 拡張接続モジュール(オプションの802.11b カードでコンピュータとのワイヤレス接続などが可能)
- 追加レンズ
 - 短焦点
 - 長焦点
- キャリングケース
- 天井取付け器具
- プロジェクタスクリーン
- 電源ケーブル
- 交換用ランプモジュール
- ビデオケーブル

設置場所の選択

このセクションでは、設置例に合わせたプロジェクタのセットアップ方法とプランの立て方について説明します。

- 「卓上に設置するには」 18ページ
- 「天井に設置するには」 18ページ
- 「ケーブルカバーを取り付けるには」 22ページ
- 「背面投影用に設置するには」 21ページ



プロジェクタの設置距離と画像サイズ

スクリーンからの距離		投影画像の対角線長		投影画像の幅	
1.5 m	5 ft	0.8–0.9 m	31–37 in.	0.6–0.8 m	25–30 in.
2 m	7 ft	1.1–1.3 m	41–50 in.	0.8–1.0 m	33–40 in.
4 m	13 ft	2.1–2.5 m	83–99 in.	1.7–2.0 m	66–80 in.
6 m	20 ft	3.2–3.8 m	124–149 in.	2.5–3.0 m	99–119 in.
8 m	26 ft	4.2–5.1 m	165–199 in.	3.4–4.0 m	132–159 in.
10 m	33 ft	5.3–6.3 m	207–249 in.	4.2–5.1 m	165–199 in.
12 m	39 ft	6.3–7.6 m	248–298 in.	5.0–6.1 m	199–239 in.
14 m	46 ft	7.4–8.8 m	289–348 in.	5.9–7.1 m	232–278 in.

この距離の表以外にも、以下の式を使用して、スクリーンの位置に応じたプロジェクタの設置場所を決めることができます。

投影距離の計算方法

スクリーンからの距離 (m) = A × スクリーンの幅 (m)

スクリーンからの最少/最大距離 (m) = B

スクリーンの幅 = 0.8 × スクリーンの対角線長 (4:3スクリーンの場合)

プロジェクタのレンズはスクリーンの一番上または下と同じ高さとする

A = 1.98 ~ 2.38

B = 1.5 ~ 14 m

実際の設置状況が上記の距離を上回る場合は、追加レンズが必要です。57ページの「追加レンズを取り付けるには」を参照してください。

卓上に設置するには

1. スクリーンの前面から1.5~14 m離れた位置にある安定した台の上にプロジェクタを置きます。
2. 必要なすべてのケーブルをプロジェクタに接続します。
3. 必要なら、設置方法に合わせてプロジェクタを設定します。オンスクリーンメニューを開き、**セットアップ>プロジェクターの配置**を選択します。次に、ドロップダウンリストから**スクリーン正面**を選択します。

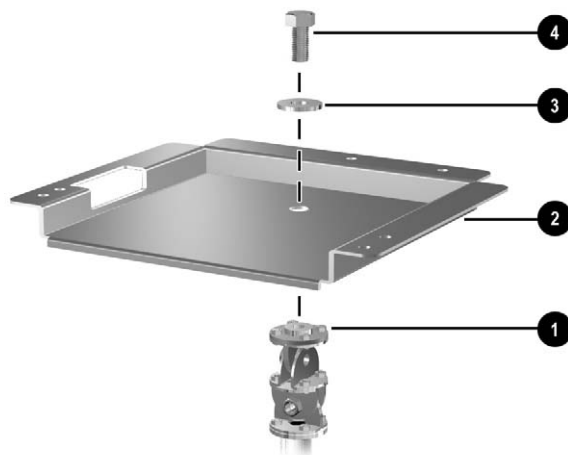
天井に設置するには

天井取付け器具は以下の図に示すものと異なる場合がありますが、設置手順は基本的に同じです。

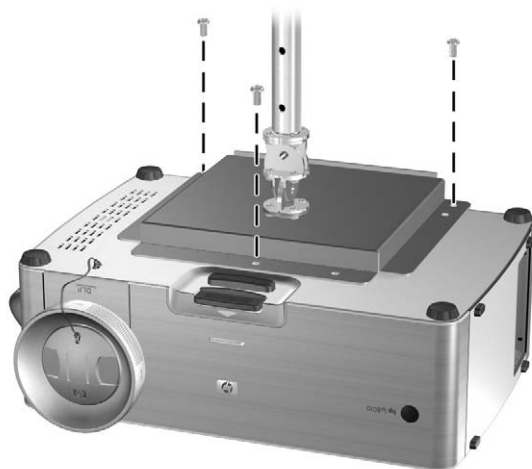


天井に設置する場合は、専門の電気技術者に依頼するようお勧めします。

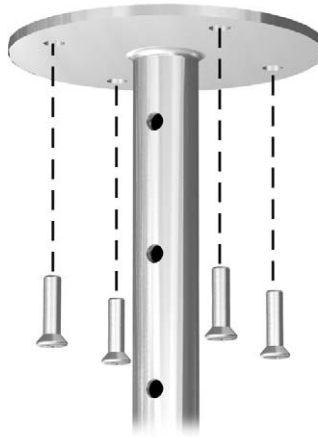
1. 天井取付けブラケット①の端と、下部取付けブラケット②の中央の穴とを合わせ、ワッシャ③とボルト④でしっかりと固定します。



2. プロジェクタの3つの穴と下部取付けブラケットの位置を合わせ、3個のネジでしっかりと固定します。



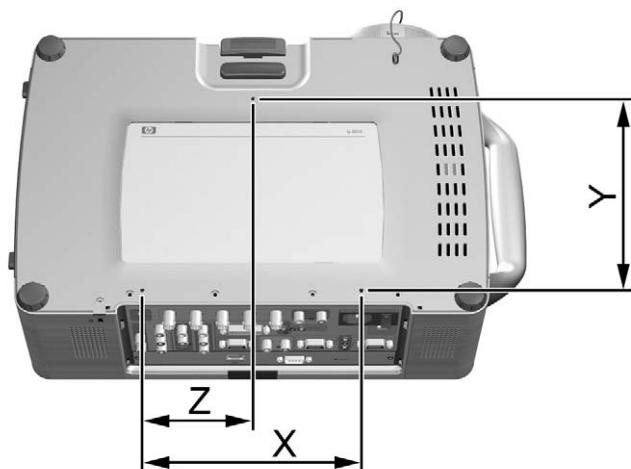
- 天井取付けブラケットを天井にあてがい、耐荷重9 kgの4本のネジでしっかりと固定します。天井取付けブラケットはスクリーンの前面から1.5～14 m離れた位置に取り付けます。



- 設定に合わせてオンスクリーンメニューを変更します。オンスクリーンメニューを開き、**セットアップ>プロジェクターの配置**を選択します。次に、ドロップダウンリストから**天吊り(スクリーン正面)**を選択します。
- 必要に応じて、ケーブルを隠すためにケーブルカバーを取り付けます。22ページの「ケーブルカバーを取り付けるには」を参照してください。ケンジントンロックでプロジェクタを固定した場合、カバーも固定されます。

HP以外の天井取付け器具を使用する場合、以下の寸法に従って 프로젝터를取り付けてください。

- X = 176 mm
- Y = 188 mm
- Z = 86 mm
- ネジ寸法 = M6



背面投影用に設置するには

1. リアプロジェクション用の半透明スクリーンの背面から1.5～14 m離れた位置に 프로젝터를配置します。

詳細な手順については、18ページの「卓上に設置するには」または18ページの「天井に設置するには」を参照してください。

2. オンスクリーンメニューを開き、**セットアップ>プロジェクターの配置**を選択します。次に、ドロップダウンリストから**スクリーン裏側**または**天吊り(スクリーン裏側)**を選択します。

リモコンからの信号が 프로젝터に届かない場合、2つの方法で通信を行うことができます。33ページの「制御機器を接続するには」を参照してください。

ケーブルカバーを取り付けるには

ケーブルカバーを取り付けて、ケーブルのコネクタ部分が見えないようにすることができます。

- カバーのプラスチックの爪をプロジェクタのケースの上の溝にはめ込んだ後、カバーの下の突起をケースの下の溝に押し込みます。



電源のオン/オフ

このセクションでは以下の手順を説明します。

- 「電源を接続するには」 23ページ
- 「プロジェクタの電源をオンにするには」 24ページ
- 「プロジェクタの電源をオフにするには」 25ページ
- 「リモコンを操作するには」 25ページ
- 「プロジェクタをリセットするには」 26ページ

電源を接続するには

1. 電源コードの一方の端をプロジェクタの背面**①**に接続し、もう一方の端を電源コンセント**②**に差し込みます。
2. プロジェクタの背面にある主電源切断スイッチ**③**をオンにします。



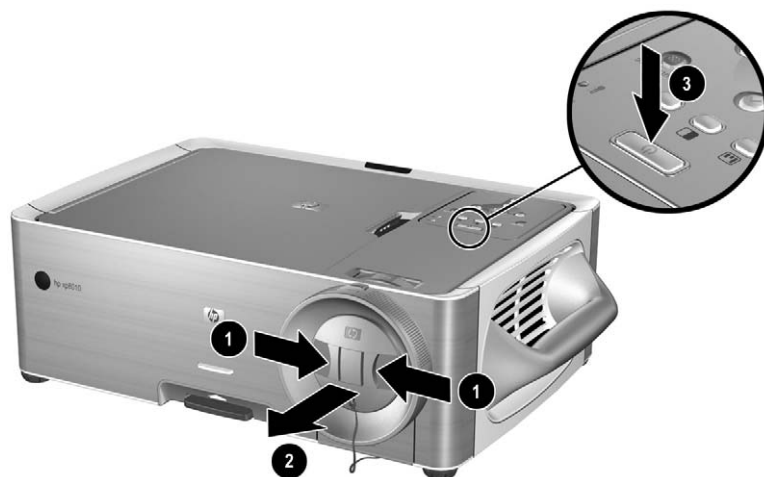
ネットワーク接続を維持するためには、主電源切断スイッチをオンのままにしておく必要があります。



プロジェクタの電源をオンにするには

1. 電源コードが接続されており、主電源切断スイッチがオンになっていることを確認します。
2. レンズキャップ両側のつまみ①を押し込んでまっすぐ前に引き出し②、レンズキャップを外します。
3. プロジェクタ上部の電源ボタン③またはリモコンの電源ボタンを押します。

プロジェクタのウォームアップの間、電源ボタンが点滅します。ランプがオンになると、電源ボタンが点灯し、プロジェクタが信号の検出を開始します。



4. コンピュータ、携帯端末、DVD プレーヤなどのソースを接続してオンにします。詳細については、27ページの「プロジェクタを最初に接続するとき」および43ページの「接続と準備」を参照してください。

プロジェクタの電源をオフにするには

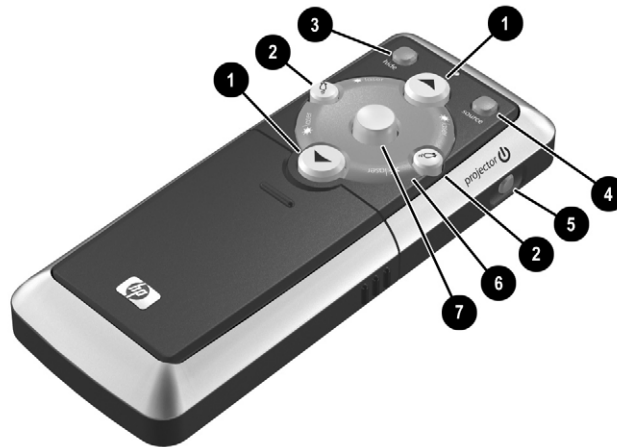
- プロジェクタの電源ボタンまたはリモコンの電源ボタンを押して、プロジェクタの電源をオフにします。

クールダウンが終了するまで、電源ボタンが点滅します。





警告: クールダウンが終了し、電源ボタンが消灯するまで、電源コードを抜いたり、主電源切断スイッチをオフにしたりしないでください。この注意事項を守らないと、プロジェクタを損傷するおそれがあります。

リモコンを操作するには



- プロジェクタをオン/オフするには、電源ボタン⑤を押します。
- レーザポインタをオンにするには、青いレーザーリング⑥を押します。
- 投影された画像を非表示にしたり再表示したりするには、**hide**ボタン③を押します。
- 接続されている入力ソースを切り替えるには、**source**ボタン④を押します。
- マウス操作でコンピュータを制御するには、マウスボタン⑦を傾けてポインタを動かし、左クリック②または右クリック②ボタンを押します。この機能を使用するには、プロジェクタとコンピュータをUSB接続する必要があります。

- コンピュータのページを上下にスクロールするには、ページアップ^①およびページダウン^①ボタンを押します。この機能を使用するには、プロジェクタとコンピュータをUSB接続する必要があります。
- その他のボタンを使用するには、リモコンのケースをスライドさせて開けます。
 - 入力信号の種類に応じて最適な画像を表示するには、ビジネスグラフィックスボタン  またはシアタービデオボタン  を押します。
 - オンスクリーンメニューを使ってプロジェクタ設定を変更するには、**enter** を押し、矢印ボタンを使って変更を行います。詳細な手順については、34ページの「設定を変更するにはオンスクリーンメニューを使います。」を参照してください。
 - オンスクリーンメニューや調整を終了するには、**back** ボタンを必要な回数だけ押します。
 - 同期を調整するには、**auto sync** ボタンを押します。

リモコンの隠れている部分については、14ページの「リモコン」を参照してください。



9 m以内の距離から、リモコンを画面に向けるか、プロジェクタの前面または背面に向けます。



警告: 目を痛めないよう、リモコンのレーザー光を直接のぞき込んだり、レーザー光線を人の目に向けたりしないでください。

プロジェクタをリセットするには

プロジェクタが全く応答しなくなった場合、電源を切断することですべての回路をリセットすることができます。

1. プロジェクタまたはリモコンの電源ボタンを押してプロジェクタをオフにし、クールダウンが終わって電源ボタンの点滅が消えるまで待ちます。プロジェクタがオフにならない場合は、次の手順に進んでください。
2. 主電源切断スイッチをオフにし、60秒たったら。再度オンにします。
3. 電源ボタンを押してプロジェクタを再始動します。

プロジェクタを最初に接続するとき

プレゼンテーションのために臨時にプロジェクタをセットアップする場合は、第3章「プレゼンテーション」を参照してください。

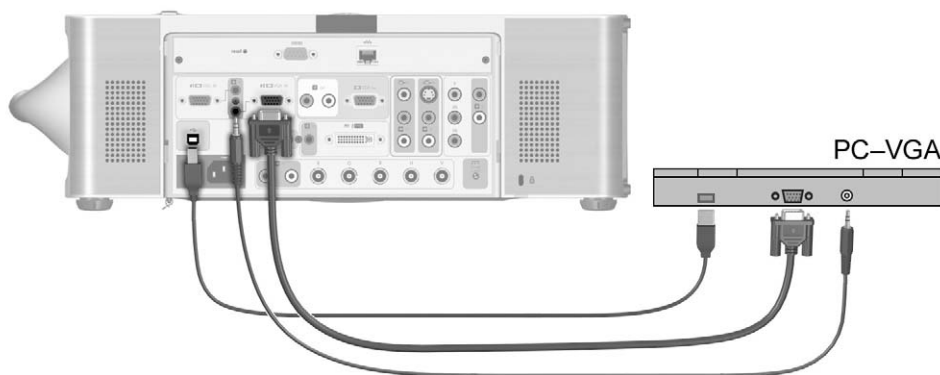
このセクションでは、各種の機器をプロジェクタに接続する方法を説明します。

- 「入力ソースを接続するには」 27ページ
- 「出力装置を接続するには」 32ページ
- 「制御機器を接続するには」 33ページ

入力ソースを接続するには

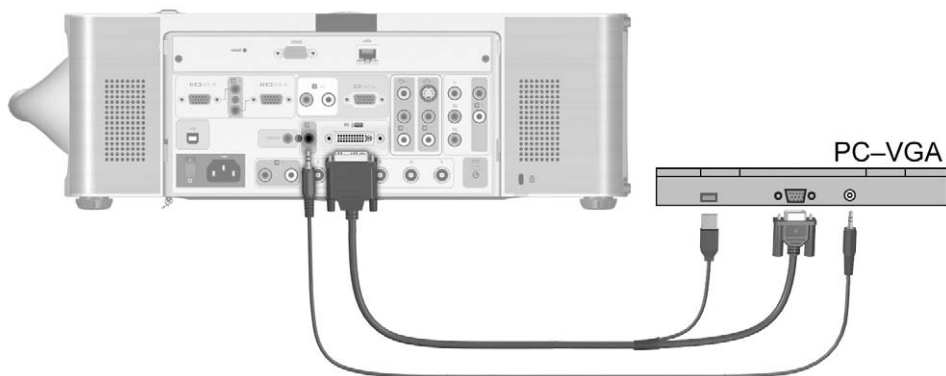
VGAケーブルコネクタがあるコンピュータ

- VGAケーブル
- USB A/Bケーブル
- ステレオミニプラグオーディオケーブル



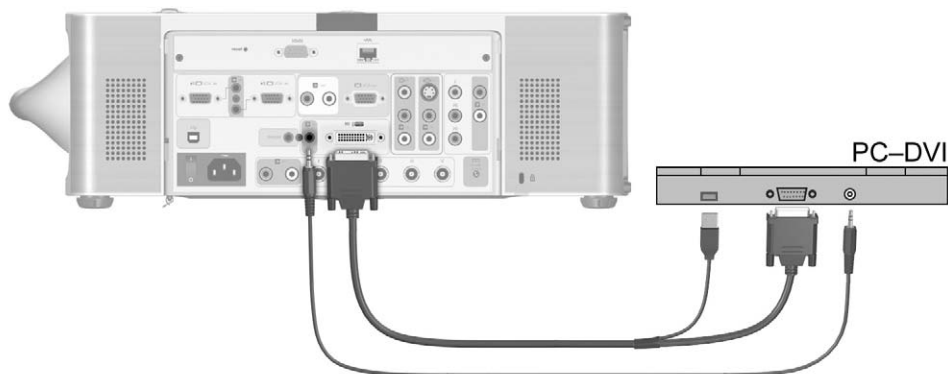
M1-VGAケーブルコネクタがあるコンピュータ

- M1-VGA/USBケーブル (HPより別途ご購入ください)
- ステレオミニプラグオーディオケーブル



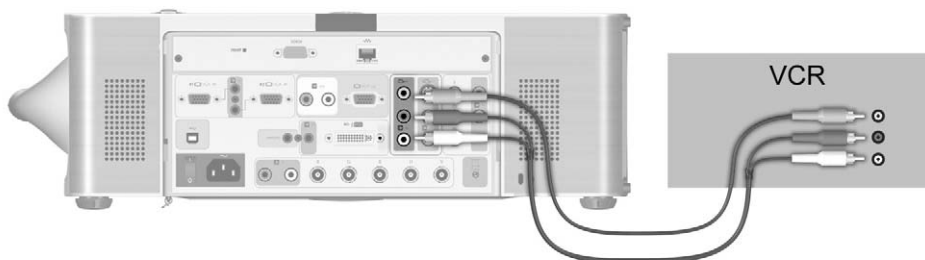
M1-DVIケーブルコネクタがあるコンピュータ

- M1-DVI/USBケーブル (HPより別途ご購入ください)
- ステレオミニプラグオーディオケーブル



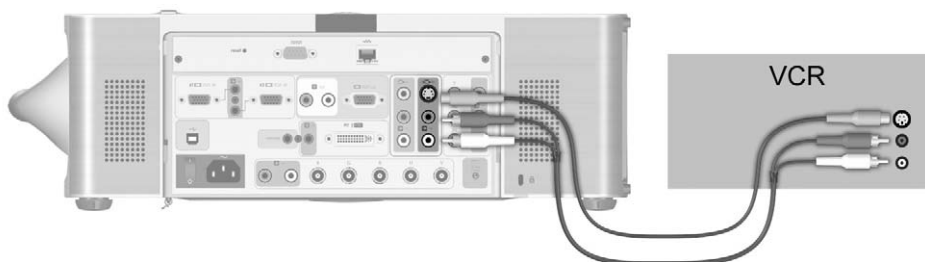
コンポジットビデオケーブルコネクタを持つビデオデッキ

- RCAビデオケーブル
- RCAステレオオーディオケーブル



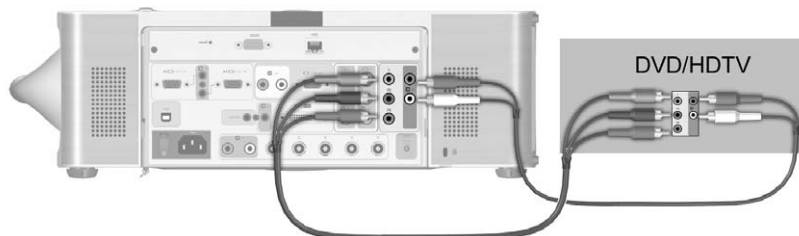
Sビデオ機器の接続

- Sビデオケーブル
- RCAステレオオーディオケーブル



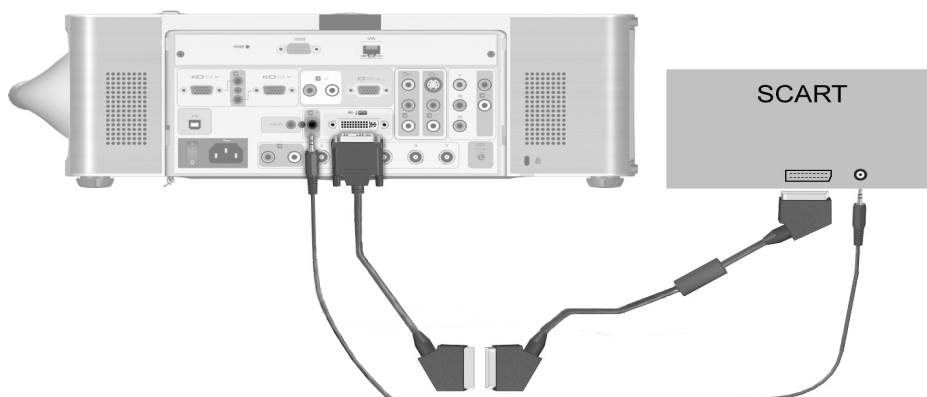
コンポーネントビデオケーブルコネクタを持つDVDまたはHDTV

- RCA YPbPrケーブル
- RCAステレオオーディオケーブル



SCARTデバイス接続

- M1-to-SCARTアダプタケーブル (HPより別途ご購入ください)
- SCARTケーブル
- ステレオミニプラグオーディオケーブル



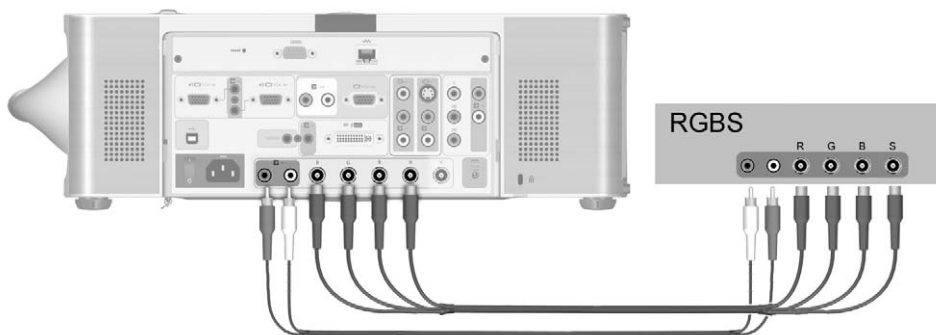
RGB機器の接続

- RGBビデオBNCケーブル
- RCAステレオオーディオケーブル



RGBS機器の接続

- RGBSビデオBNCケーブル
- RCAステレオオーディオケーブル



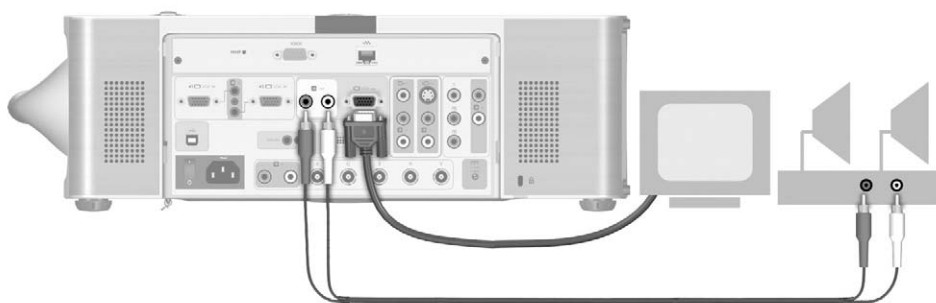
RGBHV機器の接続

- RGBHVビデオBNCケーブル
- RCAステレオオーディオケーブル



出力装置を接続するには

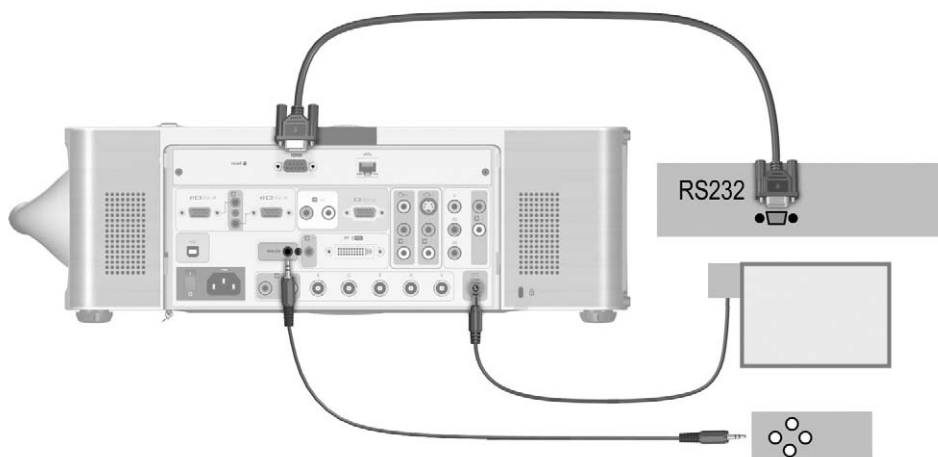
- VGAケーブル
- RCAステレオオーディオケーブル



スピーカーはアンプ付きのものを使用してください。

制御機器を接続するには

- 9ピンシリアルケーブル
- 2.5 mm-3.5 mmステレオミニプラグケーブル
- 3.5×1.3 mm DC電源ケーブル



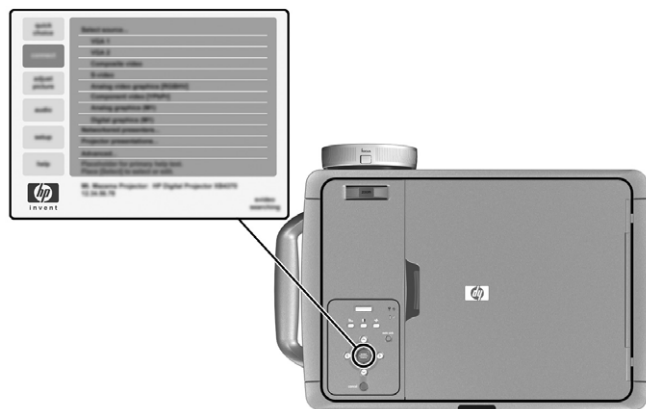
リアプロジェクションの場合など、設置方法によっては、リモコンからの信号がプロジェクタに届かないことがあります。リモコンを使用するには以下のどれかの方法を使います。

- リモコン延長器を使います。延長器のケーブルをプロジェクタのリモートコネクタに差し込みます。受光部を発表者と同じ部屋に置きます。
- リモコンとプロジェクタをケーブルで接続します。一端が2.5 mmステレオミニプラグ、他端が3.5 mmステレオミニプラグのケーブルを用意します。小さい方のプラグをリモコンに、大きい方のプラグをプロジェクタのリモートコネクタに差し込みます。

プロジェクタの設定

設定を変更するには**オンスクリーンメニュー**を使います。

オンスクリーンメニューの設定は、プロジェクタのボタンまたはリモコンのボタンを使って変更できます。



1. プロジェクタまたはリモコンの**enter**を押すと、オンスクリーンメニューが開きます。
2. **▲**上または**▼**下の矢印を押して目的のメニューを強調表示し、**enter**を押して強調表示されたオプションを選択します。
3. **▲**上または**▼**下の矢印を押して目的のパラメータを強調表示し、**enter**を押して強調表示されたオプションを選択します。
4. **◀**左または**▶**右を押すか、**▲**上または**▼**下を押して目的の設定を選択します。一部のパラメータでは、変更中に別の画面が表示されることがあります。
5. **enter**を押してメニューに戻ります。
6. 別のメニューに移るには、**back**ボタンを押してからメニューを選択します。
7. オンスクリーンメニューを閉じるには、**back**ボタンを必要な回数だけ押します。

一定時間操作をしないでおくと、オンスクリーンメニューは閉じます。オンスクリーンメニューが閉じるまでの時間を変更するには、オンスクリーンメニューを開き、**セットアップ>タイムアウト**を選択します。

オンスクリーンメニューの選択項目一覧は、61ページの「オンスクリーンメニューの使用法」を参照してください。

ネットワークアクセスをセットアップするには

1. プロジェクタ背面のRJ-45ネットワークポートに、CAT5のネットワークケーブルを差し込みます。

プロジェクタの電源がオンになっている場合、ネットワークポートの左側のインジケータライトがオンになり、10または100 Mb/sの接続を示します。右側のライトはネットワーク動作を示します。

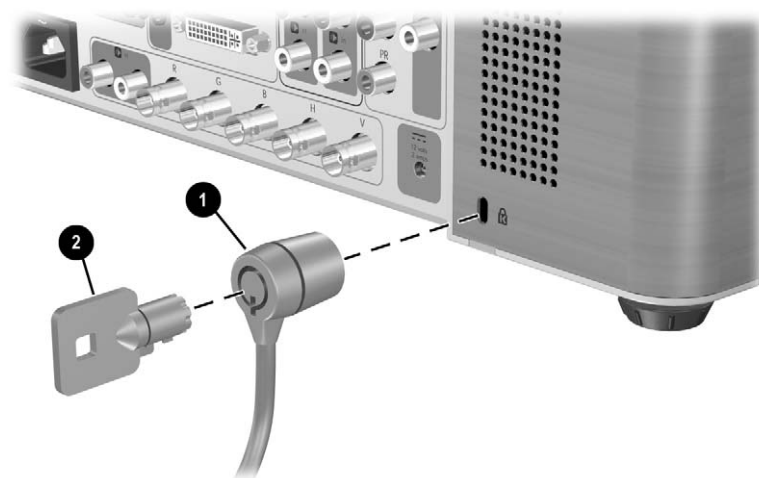
通常の状態ではプロジェクタはDHCP(Dynamic Host Configuration Protocol)サーバからIPアドレスを取得しようとし、サーバが見つからない場合はデフォルトアドレスを使用します。IPアドレスは、オンスクリーンメニューの下部に表示されます。

2. プロジェクタのTCP/IPネットワーク設定を表示または変更したい場合は、プロジェクタの電源をオンにし、オンスクリーンメニューを開いて**セットアップ>ネットワーク**を選択し、変更を入力します。DHCPサーバが動作していない場合、ネットワーク管理者に適切なTCP/IP設定を問い合わせてください。

ネットワークの詳しい設定方法については、54ページの「プロジェクタの基本プロパティの設定」を参照してください。



プロジェクタの固定



プロジェクタには、ケーブルとロック(コンピュータ販売店などで広く市販されている Kensington MicroSaver ロックシステムなど)で固定するためのスロットが装備されています。

1. 机の脚などの固定された物体にケーブルを巻きつけます。ケーブルを固定物の回りで引き結びを作り、外れないことを確認します。
2. ロック ① を穴に差込み、キー ② を回します。

プロジェクタにケーブルカバーが取り付けられている場合、ロックによってカバーとプロジェクタも固定されます。

この章では、プロジェクタの調整方法について説明します。この章の内容:

- 「基本調整」 37ページ
- 「画像の調整」 40ページ

基本調整

このセクションでは以下の手順を説明します。

- 「プロジェクタの投影位置を調整するには」 38ページ
- 「焦点とズームを調整するには」 39ページ
- 「オーディオを調整するには」 39ページ

プロジェクタの投影位置を調整するには

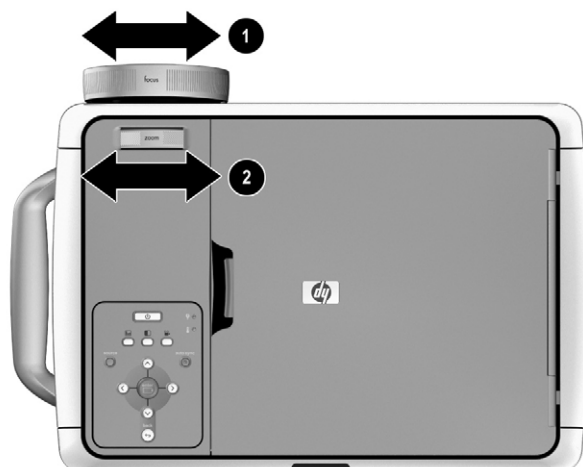
- スクリーン上の投影画像を上にするには、高さ調節レバーを上押しした状態で、プロジェクタの前部を持ち上げて必要な表示角度にしたあと、レバーを放して脚を固定します。



- スクリーン上の投影画像を下にするには、高さ調節レバーを上押しした状態で、プロジェクタの前部を押し下げたあと、レバーを放して脚を固定します。
- 投影画像を水平にするには、後ろの2つの脚を回してネジで高さを調節します。4つの脚はすべてこのように調節できます。

焦点とズームを調整するには

1. フォーカスリング①を回して、画像が鮮明になるように調整します。プロジェクタが焦点を結ぶことができる距離は、1.5～14 mの範囲です。
2. ズームリング②を回して、画像の大きさを100%～120%の範囲で調整します。



詳細については、17ページの「設置場所の選択」を参照してください。

オーディオを調整するには

1. オンスクリーンメニューを開き、オーディオを選択します。
2. オーディオ調整を設定します。

オーディオメニューでは、オーディオ入力の選択、内部スピーカのオフ、およびミュート、音量、バランス、高音、低音などのオーディオ設定を調整できます。

すべてのオーディオ調整の説明については、61ページの「オンスクリーンメニューの使用法」を参照してください。




画像の調整

このセクションでは以下の手順を説明します。

- 「画像の種類に応じて投影画像を調整するには」 40ページ
- 「その他の画像設定を調整するには」 40ページ
- 「ウェブから調整を実行するには」 41ページ

画像の種類に応じて投影画像を調整するには

プロジェクタまたはリモコンの画像モードボタンを使って、投影画像を最適化できます。

- データプレゼンテーション用に画像を最適化するには、ビジネスグラフィックス  ボタンを押します。
- ビデオ映像用に画像を最適化するには、シアタービデオ  ボタンを押します。
- 輝度を最大にするには、超輝度  ボタンを押します(このボタンはリモコンにはありません)。このモードでは、画像は白黒で表示されます。

その他の画像設定を調整するには

オンスクリーンメニューには、画像の微調整のためのさまざまな設定が用意されています。

1. オンスクリーンメニューを開き、**画像調整**を選択します。
2. 必要に応じて画像調整を変更します。

画像調整メニューでは、輝度、コントラスト、白輝度、縦横比、キーストーン補正など、画像の基本および詳細設定を行うことができます。

すべての画像調整の説明については、61ページの「オンスクリーンメニューの使用法」を参照してください。



オンスクリーンメニューや調整を終了するには、**back**ボタンを必要な回数だけ押します。

ウェブから調整を実行するには

インターネットにアクセスできるコンピュータがあれば、オンスクリーンメニューを開かずにプロジェクタの調整を実行できます。ウェブインタフェースは、Microsoft Windows 2000およびXP、Mac OS 9および10、Internet Explorer 5.5以上、Netscape Navigator 7.0以上でテストされています。

1. ネットワークに接続されたコンピュータで、インターネットブラウザを開き、プロジェクタのIPアドレスをURLバーに入力し、**Enter**キーを押します。詳細は、53ページの「IPアドレスを調べるには」を参照してください。
2. **Projector**タブをクリックします。画面の左側にある**画像調整**をクリックします。
3. 画像設定を調整するには、画面右側に表示されているオプションを選択し、**適用**をクリックします。

アクセス権限によりませんが、プロジェクタのすべての設定がコンピュータ上のブラウザから変更できます。

プレゼンテーション

この章では、コンピュータや他の装置を臨時にプロジェクタに接続する方法を説明します。この章の内容:

- 「接続と準備」 43ページ
- 「プレゼンテーションの表示」 49ページ
- 「接続の解除」 51ページ

接続と準備

このセクションでは以下の手順を説明します。

- 「VGAケーブルを使ってコンピュータを接続するには」 44ページ
- 「携帯端末を接続するには」 45ページ
- 「その他のケーブルを使ってコンピュータを接続するには」 46ページ
- 「その他のビデオソースを接続するには」 48ページ

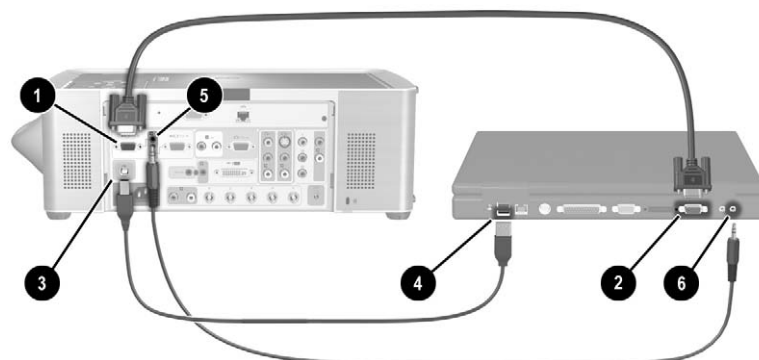
他の種類の接続については、27ページの「プロジェクタを最初に接続するとき」を参照してください。

VGAケーブルを使ってコンピュータを接続するには

1. プロジェクタのVGA1ポート①とコンピュータのVGAポート②を標準のVGAケーブルで接続します。
2. (オプション) リモコンをコンピュータのマウスとして使用するには、プロジェクタのUSB出力ポート③とコンピュータ④をUSB A/Bケーブルで接続します。
3. (オプション) オーディオ信号を受け取るには、プロジェクタのVGA1オーディオポート⑤とコンピュータ⑥をステレオミニプラグのケーブルで接続します。



デスクトップコンピュータの場合、デスクトップモニタをプロジェクタのVGA出力に接続すれば、プロジェクタスクリーンとデスクトップモニタの両方で画像を見ることができます。



携帯端末を接続するには

1. 携帯端末にVGA出力ポートがあることを確認してください。必要ならば、VGA出力アクセサリカードを携帯端末に装着します。



端末端末によってはVGA出力ポートを持たないものがあります。例えば、iPAQ Pocket PCの場合、15ピンコネクタを持つVGA出力PCカードが必要です。

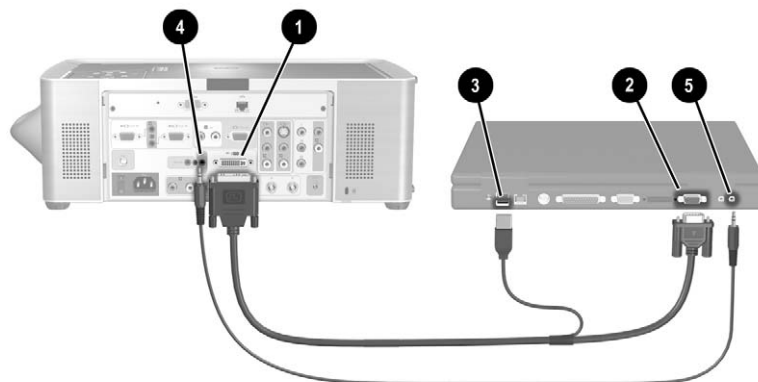
2. プロジェクタのVGA1ポート①に標準のVGAケーブルを接続し、もう一方の端をVGA出力PCカード②に接続します。



その他のケーブルを使ってコンピュータを接続するには

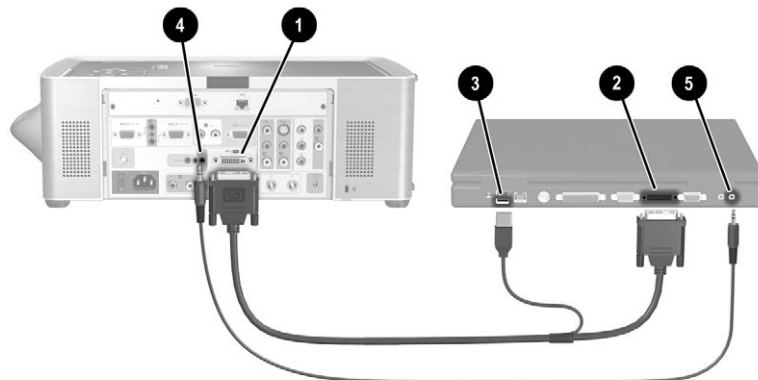
M1-VGA/USB接続

1. プロジェクタのM1ポート①とコンピュータのVGAポート②をM1-VGA/USBケーブル(HPから入手可能)で接続します。
2. (オプション) リモコンをコンピュータのマウスとして使用するには、M1-VGA/USBケーブルのUSBプラグをコンピュータのUSBポート③に接続します。
3. (オプション) オーディオ信号を受け取るには、プロジェクタのM1オーディオポート④とコンピュータ⑤をステレオミニプラグのケーブルで接続します。



M1-DVI/USB接続

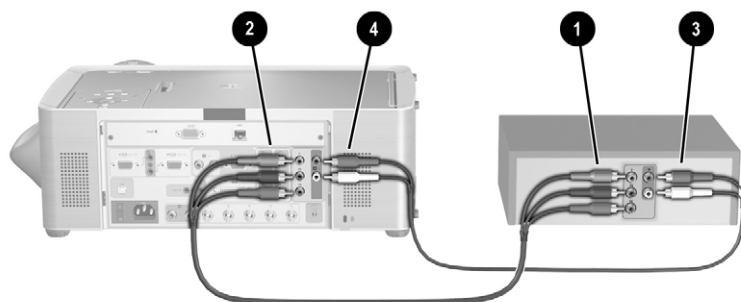
1. プロジェクタのM1ポート①とコンピュータのDVIポート②をM1-DVI/USBケーブル(HPから入手可能)で接続します。
2. (オプション) リモコンをコンピュータのマウスとして使用するには、M1-DVI/USBケーブルのUSBプラグをコンピュータのUSBポート③に接続します。
3. (オプション) オーディオ信号を受け取るには、プロジェクタのM1オーディオポート④とコンピュータ⑤をステレオミニプラグのケーブルで接続します。



その他のビデオソースを接続するには

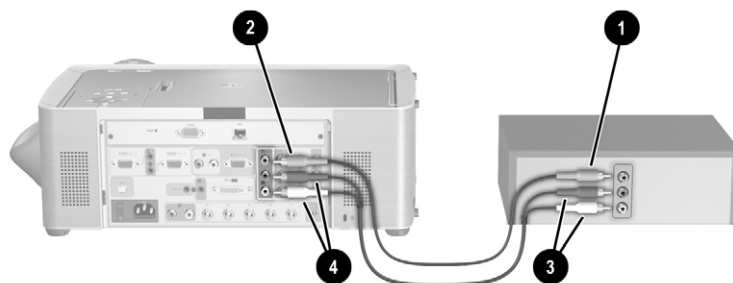
DVDプレーヤーの接続

1. DVDプレーヤーのYPbPrポート①とプロジェクタのYPbPrポート②をトリプルRCAケーブルで接続します。コネクタの色分けに注意してください。
2. (オプション) オーディオ信号を受け取るには、DVDプレーヤーのステレオオーディオポート③とプロジェクタのYPbPrオーディオポート④をステレオRCAケーブルで接続します。コネクタの色分けに注意してください。



ビデオデッキの接続

1. ビデオデッキのコンポジットビデオコネクタ①とプロジェクタ②をコンポジットビデオケーブルで接続します。
2. (オプション) オーディオ信号を受け取るには、ビデオデッキのステレオオーディオポート③とプロジェクタのコンポジットオーディオポート④をRCAケーブルで接続します。コネクタの色分けに注意してください。



プレゼンテーションの表示

このセクションでは、プレゼンテーション中に行える操作について説明します。

- 「コンピュータからプレゼンテーションを行うには」 49ページ
- 「ソースを変更するには」 50ページ
- 「画面を非表示または再表示するには」 50ページ

コンピュータからプレゼンテーションを行うには

1. コンピュータがプロジェクタに接続されていることを確認します。詳細は、43ページの「接続と準備」を参照してください。
2. コンピュータとプロジェクタの電源がオンになっていることを確認します。詳細は、24ページの「プロジェクタの電源をオンにするには」を参照してください。



コンピュータの画面がスクリーンに投影されていない場合、ファンクションキー (**Fn** + **F4**など)を押してコンピュータのビデオポートを有効にする必要がある場合があります。プロジェクタに付属するビデオポートカードを参照してください。

3. 投影画像を調整したい場合は、40ページの「画像の調整」を参照してください。
4. リモコンを使ってプレゼンテーションを効果的に行うことができます。詳細については、25ページの「リモコンを操作するには」を参照してください。

- プレゼンテーションのページを移動するには、**▲**ページアップまたは**▼**ページダウンボタンを押します。
- マウスポインタを動かすには、マウスボタンを傾けます。
- レーザポインタをオンにするには、レーザリングを押します。



警告: 目を痛めないよう、リモコンのレーザ光を直接のぞき込んだり、レーザ光線を人の目に向けたりしないでください。



マウスや**▲**ページアップ**▼**ページダウン操作を行う場合、9m以内の距離からリモコンをスクリーンに向けるか、プロジェクタの前面または背面に向けます。

これらの操作を行うには、プロジェクタとコンピュータをUSB接続する必要があります。

ソースを変更するには

- プロジェクタまたはリモコンの**source**ボタンを押すか、
- オンスクリーンメニューを開き、**入力**を選択し、入力ソースが接続されているポートを選択します。

画面を非表示または再表示するには

画面を一時的に聴衆から見えなくすることができます。

- リモコンの**hide**ボタンを押します。もう一度**hide**ボタンを押すまで、画面は空白になります。



Microsoft PowerPointを使用する場合、**B**キーまたは**W**キーを押すことで画面を非表示にすることもできます。もう一度**B**キーまたは**W**キーを押すまで、画面は空白になります。

接続の解除



注意: プロジェクタのクールダウンが終了し(ファンが停止)、電源ボタンのライトの点滅が消えるまで、プロジェクタの電源コードを抜いたりスイッチをオフにしたりしないでください。これは、ランプの寿命を低下させるのを防ぐためです。

1. プロジェクタの電源ボタンまたはリモコンの電源ボタンを押して、プロジェクタの電源をオフにします。

クールダウンが終了するまで、電源ボタンが約2分間点滅します。その後、プロジェクタはスタンバイモードに入り、ネットワーク接続は維持されます。

2. クールダウン中にビデオ機器やオーディオ機器の接続をプロジェクタから取り外してもかまいませんが、電源コードは取り外さないでください。



プロジェクタがネットワークに接続されている場合、主電源切断スイッチをオフにしたり、電源コードを抜いたりしないでください。電源を遮断すると、ネットワーク接続が切断されます。

3. 電源を抜いたりプロジェクタを移動したりする場合は、電源ボタンライトの点滅が消えてからにしてください。その後、プロジェクタ背面の主電源切断スイッチをオフにし、電源コードを抜きます。

クールダウン中にプロジェクタの電源をオンにしようとしても、オンにはなりません。クールダウンが終了し、電源ボタンの点滅が消えてからオンにしてください。

システム管理

この章では、プロジェクトを管理する方法を説明します。プロジェクトがネットワークに接続されている場合、プロジェクトの内蔵ウェブサーバにアクセスすることにより、同じ室内にいらなくても別の場所からプロジェクトを集中管理することができます。プロジェクトの現在のステータスのチェック、設定の変更、自動シャットダウン時間の設定、ファームウェアのアップグレードといった作業を、すべてリモートで実行できます。

ウェブインタフェースは、Microsoft Windows 2000およびXP、Mac OS 9および10、Internet Explorer 5.5以上、Netscape Navigator 7.0以上でテストされています。

この章の内容:

- 「プロジェクトの管理」 53ページ
- 「プロジェクトのアップグレード」 56ページ

プロジェクトの管理

このセクションでは以下の手順を説明します。

- 「IPアドレスを調べるには」 53ページ
- 「プロジェクトの基本プロパティの設定」 54ページ
- 「電子メール通知の設定」 55ページ
- 「設定変更を保護するには」 55ページ

IPアドレスを調べるには

- プロジェクトまたはリモコンの**enter**を押して、オンスクリーンメニューを開きます。メニューの下部に数字の列で示されているIPアドレスを記録します。
backボタンを押してメニューを閉じます。

プロジェクトの基本プロパティの設定

1. ネットワークに接続されたコンピュータで、インターネットブラウザを開き、プロジェクトのIPアドレスをURLバーに入力し、**Enter**を押します。詳細は、53ページの「IPアドレスを調べるには」を参照してください。
2. 表示または変更したいプロパティに応じて、以下の表に示す場所にアクセスしてください。
3. 必要な変更を行って**Apply**をクリックします。

プロジェクトのプロパティの変更

プロジェクトのプロパティ	ウェブインタフェースでの位置
ステータス	Home > Device Info
ウェブインタフェース言語	Home > Select Language
画像とオーディオ*	プロジェクター
基本ネットワーク設定*	ネットワーク > TCP/IP (特定モデルではケーブル接続ネットワーク)
詳細ネットワーク設定	Networking

*これらのプロパティはオンスクリーンメニューにも用意されています。

電子メール通知の設定

何らかの重大なイベントが発生したときに、指定した宛先にプロジェクトから電子メールを送信させることができます。

1. ネットワークに接続されたコンピュータで、インターネットブラウザを開き、プロジェクトのIPアドレスをURLバーに入力し、**Enter**を押します。詳細は、53ページの「IPアドレスを調べるには」を参照してください。
2. **Management**タブをクリックし、画面の左側の**Alerts**をクリックします。
3. 電子メールアラートを生成するイベントを選択します。
4. アラートを受信する電子メールアドレスを入力します。
5. プロジェクトが電子メールを送信するために使用するSMTP(Simple Mail Transfer Protocol)サーバのIPアドレスを入力します。SMTPサーバは受信者にメッセージを転送します。
6. **Apply**をクリックします。

設定変更を保護するには

1. ネットワークに接続されたコンピュータで、インターネットブラウザを開き、プロジェクトのIPアドレスをURLバーに入力し、**Enter**を押します。詳細は、53ページの「IPアドレスを調べるには」を参照してください。
2. **ネットワーク**タブをクリックし、画面の左側の**管理者アカウント**をクリックします。
3. パスワードを入力し、確認のためもう一度入力します。
すべてのアクセスと設定パラメータの変更には、このパスワードを使用する必要があります。パスワードを無効にするには、パスワードを削除してフィールドを空白にします。
4. **Apply**をクリックします。

プロジェクトのアップグレード

このセクションでは以下の手順を説明します。

- 「ファームウェアをアップデートするには」 56ページ
- 「追加レンズを取り付けるには」 57ページ
- 「接続モジュールを交換するには」 59ページ

ファームウェアをアップデートするには

HPではプロジェクトの性能改善のために、プロジェクトのファームウェアの最新バージョンを随時リリースしています。プロジェクトのファームウェアバージョンはオンスクリーンメニュー (**ヘルプ > このプロジェクトについて**) およびホームタブのウェブインタフェースに表示されます。最新バージョンの有無はhttp://www.hp.com/go/proj_firmware をご確認ください。

ウェブ方式

1. ネットワークに接続されたコンピュータで、インターネットブラウザを開き、プロジェクトのIPアドレスをURLバーに入力し、**Enter**キーを押します。詳細は、53ページの「IPアドレスを調べるには」を参照してください。
2. プロジェクトの電源がオンの場合は、電源ボタンを押してオフにします。または、ブラウザの**プロジェクト**タブで電源ボタンをクリックしても電源をオフにすることができます。
3. **Management**タブをクリックし、画面の左側の**Firmware Upgrade**をクリックします。
4. ウェブ上のアップグレードファイルを検索するためのリンクをクリックし、最新のアップグレードファイルをダウンロードします。
5. プロジェクトの**Firmware Upgrade**ページに戻り、**Browse**をクリックします。次に、ダウンロードしたファイルを選択します。
6. アップグレードボタンを押して、アップグレードプロセスを開始します。画面に表示される指示に従います。

追加レンズを取り付けるには

プロジェクタの距離と画像サイズが部屋の配置に合わない場合、追加レンズを使うことで解決する場合があります。

スクリーンとの距離、スクリーンの幅、レンズのサイズなどを調節する場合は、以下の表を参考にしてください。

レンズの範囲の説明

レンズ	距離	距離と幅の比
短焦点レンズ	1.5～12 m	1.56～1.88
ノーマルレンズ	1.5～14 m	1.98～2.38
長焦点レンズ	1.5～18 m	2.35～2.81

1. レンズカバーが外れていることを確認してください。
2. フォーカスリングを反時計回りに最後まで回します。

3. フォーカスリングの取外し用ラッチ^①を押したまま、リングを反時計回りに止まるまで回し^②、リングを引き抜きます^③。



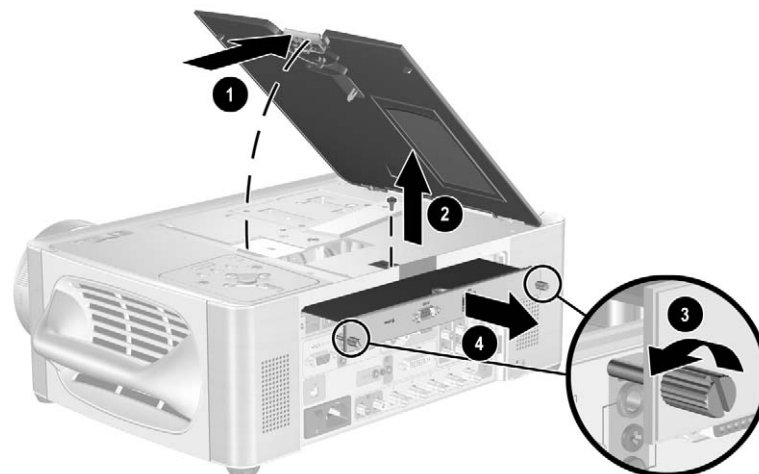
4. レンズとプロジェクタの印を合わせます。追加レンズをメインレンズのスロットに差し込み^①、レンズがかちっとはまるまで時計回りに回します^②。



接続モジュールを交換するには

1. プロジェクタの電源をオフにし、電源コードを抜きます。
2. カバーを開けます①。
3. 背面の赤外線受光部のすぐ後ろにあるネジを取り外します②。
4. プロジェクタ背面の接続モジュールの表板にある2本のネジ③を緩めます。
5. モジュールをプロジェクタから取り出します。④

接続モジュールを取り付けるには上の手順を逆に実行します。



メンテナンス

この章では、プロジェクトのメンテナンス方法について説明します。この章の内容:

- 「オンスクリーンメニューの使用法」 61ページ
- 「日常のメンテナンス」 68ページ

オンスクリーンメニューの使用法

以下の各表は、本書刊行時点でのオンスクリーンメニューの全機能の一覧です。ファームウェアのバージョンが異なる場合、一部のメニューがここに示すものと異なる可能性があります。

- 「クイックセレクトメニュー」 62ページ
- 「入力メニュー」 62ページ
- 「画像調整メニュー」 64ページ
- 「オーディオメニュー」 66ページ
- 「セットアップメニュー」 66ページ
- 「ヘルプメニュー」 67ページ



オンスクリーンメニューや調整を終了するには、**back**ボタンを必要な回数だけ押します。

クイックセレクトメニュー

このメニューは、他のメニューの機能のうち頻繁に用いられるものをすばやく呼び出すために使います。お使いのプロジェクトのメニュー内容は下に示すものと異なる可能性があります。

クイックセレクト

輝度	画像を明るくしたり暗くしたりします。
コントラスト	画像の明るい部分と暗い部分の差を調整します。
キーストーン補正	画像の台形歪みを補正します。この機能は、プロジェクト位置の中心からのずれを補正する働きをします。
キーストーン補正のリセット	キーストーン補正を0にリセットします。
非表示	スクリーンの画像をすべて非表示にします。

入力メニュー

このメニューはファームウェアの旧バージョンの**接続**メニューと同じです。説明図については、12ページの「バックパネル」を参照してください。

入力

VGA #1	VGA1ポートへの入力を示します。VGA1は通常、プロジェクトとコンピュータを接続するために用いられます。このポートは通常コンピュータに接続されます。この入力は通常はグラフィックス入力と見なされます。
VGA #2	VGA2ポートへの入力を示します。VGA2は通常、プロジェクトとコンピュータを接続するために用いられます。このポートは通常コンピュータに接続されます。この入力通常はグラフィックス入力と見なされます。
コンポジットビデオ	黄色のコンポジットポート(バックパネルのSビデオポートの左側の入力)への入力を示します。このポートは通常テレビやビデオデッキに接続されます。この入力通常はビデオ入力と見なされます。

入力 (続き)

Sビデオ	Sビデオポートへの入力を示します。これは通常、ビデオデッキ、ビデオカメラ、DVDプレーヤなどのビデオ装置に接続します。この接続は通常はビデオ入力と見なされます。
コンポーネントビデオ(YPbPr)	3コネクタのYPbPrポートへの入力を示します。これはDVDプレーヤなどの高品質のビデオ装置に接続します。
アナログビデオ(RGBHV)	5コネクタのRGBHVポートへの入力を示します。これは通常、3、4、5個のコネクタを持つアナロググラフィックス装置に接続します。RGB、RGBS、RGBHV、YPbPr、YCbCrの信号タイプを自動的に検出します。この接続は通常はグラフィックス入力と見なされます。
デジタル/アナログ画像(M1)	M1ポートへのデジタルまたはアナログ入力を示します。このポートには、アナログVGAおよびSCART装置や、デジタルDVI(Digital Video Interface)装置など、何種類かの装置を接続します。この接続は、装置によってはグラフィックスまたはビデオ入力と見なされます。
ソースの自動検出	プロジェクタが入力信号を自動検出し、次に検出されたソースを自動的に表示するかどうかを設定します。

画像調整メニュー

画像調整

画像モード	画像の種類に応じてカラーパレットを調整します。コンピュータプレゼンテーション、ビデオ出力、高輝度グレースケール出力のそれぞれに合わせて、画像を最適化できます。画像モードを変更するボタンは、リモコンとプロジェクタにあります。
白輝度	白い領域の輝度を設定します。
輝度	画像を明るくしたり暗くしたりします。
コントラスト	画像の明るい部分と暗い部分の差を調整します。
カラースペース	コンポーネント入力の一部で、入力ソースが使用している信号エンコーディングのタイプを選択します。プロジェクタの選択をオーバーライドすることもできます。
キーストーン補正	画像の台形歪みを補正します。この機能は、プロジェクタ位置の中心からのずれを補正する働きをします。
キーストーン補正のリセット	キーストーン補正を0にリセットします。
縦横比	<p>画像の比率を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 自動調整 を選択すれば、ほとんどの入力に対して自動的に適応します。 • ワイドスクリーン画像が引き伸ばされたように見える場合は、16:9を選択します。 • 投影エリア全体に画像を拡大するには、全画面を選択します。 • 入力画像の1ドットを投影画像の1ドットに対応させるには、1-to-1を選択します。
拡大	画像の一部分を拡大してスクリーンいっぱいに投影します。
詳細画像設定 >	詳細画像設定を調整します。
彩度	色の彩度を調整します。

画像調整 (続き)

色合い	色を赤または緑の方向にずらします。
鮮明度	画像の鮮明度を調整します。
色温度	色を赤または青の方向にずらします。
自動同期	プロジェクタを入力信号に再同期させます。信号の変化に応じた補正が可能です。
垂直位置	画像を投影領域内で上下に移動します。
水平位置	画像を投影領域内で左右に移動します。
周波数	コンピュータのグラフィックスカードに応じてプロジェクタのタイミングを調整します。
トラッキング	プロジェクタをコンピュータのグラフィックスカードと同期します。
ビデオ設定のリセット	ビデオ設定をデフォルトの設定に戻します。

オーディオメニュー

オーディオ

ミュート	オーディオ出力を停止します。
音量	音の大きさを調整します。
バランス	左右の音の大きさを調整します。
高音	高周波数の音の大きさを調整します。
低音	低周波数の音の大きさを調整します。
オーディオ入力を選択	ビデオソースとは別に、オーディオ入力のソースを選択します。
内蔵スピーカー	内蔵スピーカのオン/オフを設定します。オーディオ出力を外部オーディオシステムに接続する場合に使用します。
オーディオ設定のリセット	オーディオ設定をデフォルトの設定に戻します。

セットアップメニュー

セットアップ

言語	メニューの言語を選択します。
ランプセーバー	ランプの寿命を延ばすために、ランプの出力を低く設定します。
プロジェクターの配置	プロジェクターの向き(正立/倒立、スクリーン前/後)に応じて画像を調整します。向きに合わせて画像を反転したり裏返したりします。
ソースを有効にする	入力ソースごとに、プロジェクターが入力を検出する際に対象とするか無視するかを設定します。
メニューのタイムアウト	オンスクリーンメニューを閉じるまでの入力待ち時間を設定します。

セットアップ (続き)

ネットワーク >	TCP/IP ネットワークパラメータを設定します。詳細はネットワーク管理者にお問い合わせください。
DHCP	プロジェクタのIPアドレスの割り当てにDHCPサーバを使用するかどうかを設定します。電源を接続するたびに固定IPアドレスを使用する場合は、DHCPは設定しないでください。
IPアドレス	DHCPを使用しない場合に、プロジェクタのIPアドレスを設定します。
サブネットマスク	DHCPを使用しない場合に、プロジェクタのサブネットマスクを設定します。
ゲートウェイ	DHCPを使用しない場合に、プロジェクタのゲートウェイアドレスを設定します。
ランプ時間のリセット	新しいランプの場合は、使用時間をリセットします。
プロジェクターのリセット	ほとんどのメニューの設定値をデフォルト値に戻します。

ヘルプメニュー

ヘルプ

このプロジェクターについて	プロジェクタの情報とステータスを表示します。
診断テスト	プロジェクタとリモコンの動作をチェックするためのテストを表示します。

日常のメンテナンス

このセクションでは以下の手順を説明します。

- 「プロジェクタのステータスを見るには」 68ページ
- 「プロジェクタのレンズを清掃するには」 68ページ
- 「ランプモジュールを交換するには」 69ページ
- 「リモコンの電池を交換するには」 70ページ

プロジェクタのステータスを見るには

- オンスクリーンメニューを開き、ヘルプ> このプロジェクターについてを選択します。画面にプロジェクタの情報とステータスが表示されます。

プロジェクタのレンズを清掃するには

- レンズ表面を損傷したり傷付けたりしないため、脱イオン処理したきれいな乾いた空気でレンズから埃を吹き飛ばしてください。

この方法で不十分な場合は、次の方法を使ってください。

- きれいな乾いた布で、レンズを同一方向に拭きます。レンズ表面を往復させて拭かないようにしてください。

布が汚れていたり、レンズに汚れが付いた場合は、布を洗ってください。布が洗ってもきれいにならない場合、あるいは生地が傷んでいる場合は、別の布を使ってください。



注意: 清掃には以下のような特別な注意が必要です。

- レンズ表面に液体やクリーナーを直接吹き付けることは絶対にしないでください。クリーナーがレンズを損傷するおそれがあります。
- 清掃用の布を洗う際に柔軟剤を使用したり、乾かすときに柔軟シートを使用したりすることは避けてください。布に付いた化学物質がレンズの表面を損傷するおそれがあります。
- 清掃用の布がレンズに触れたままで長時間保管しないでください。布の染料がレンズに移るおそれがあります。布を空気中に放置しておくと汚れるおそれがあります。

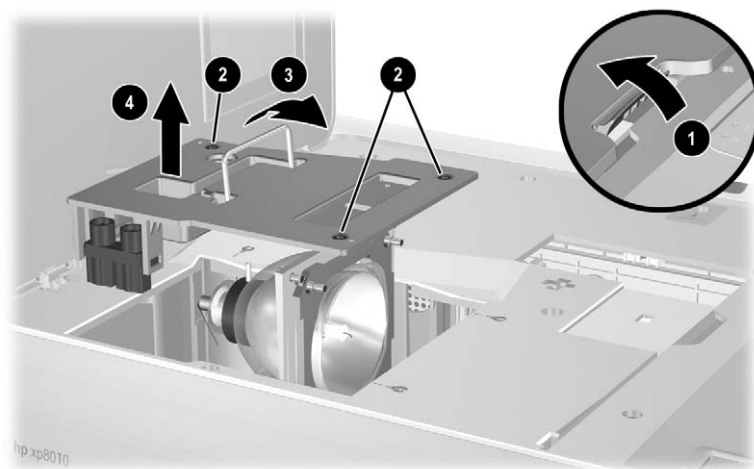
ランプモジュールを交換するには



警告:

- 寿命に近づいたランプは、割れるおそれがあります。怪我を避けるため、ランプカバーを取り外す際には割れたガラスがないかどうか注意してください。天吊りの場合、ランプモジュールを取り外す際は目の保護用のゴーグルと手袋を着用してください。ランプが割れている場合は、修理が必要な可能性があるのでHPまでご連絡ください。
- ランプアセンブリは動作中は非常な高温になるので、30分以上たってからランプカバーを開けてランプモジュールを取り外してください。クールダウン中にカバーを開けると、カバーの安全スイッチによって電源が切れ、ファンが停止するため、クールダウン時間が延びます。

1. プロジェクタをオフにし、約30分間冷却します。
2. プロジェクタ上部のカバーを開けます①。
3. プラスドライバを使って、ランプモジュールを保持している3個のネジ②を外します。
4. ハンドルを持ち上げて③、プロジェクタからランプモジュールを取り外します④。



注意: プロジェクタ内部の部品には触れないで下さい。プロジェクタ内部の精密部品は簡単に破損する場合があります。

5. 新しいランプモジュールを挿入し、3個のネジを締めます。

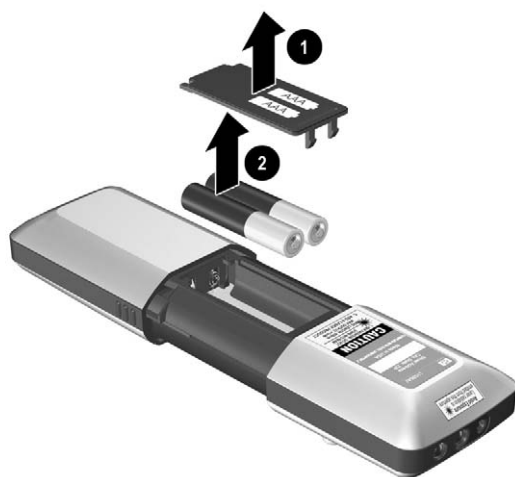
6. カバーを閉じます。
7. プロジェクタの電源をオンにします。ウォームアップ時間が過ぎてもランプが点灯しない場合は、もう一度ランプを取り付けてみてください。
8. オンスクリーンメニューを開き、**セットアップ>ランプ時間のリセット**を選択します。



警告: ランプには少量の水銀が含まれています。ランプが破損した場合は、破損が起きた部屋を十分に換気してください。ランプの廃棄は、環境汚染防止のために法律で規制されている可能性があります。廃棄またはリサイクルの方法については、各自治体または電子工業会 (www.eiae.org)にお問い合わせください。

リモコンの電池を交換するには

1. リモコンのケースをスライドさせて開けると、電池室が現れます。
2. リモコンの裏側の電池カバー ❶を開けると電池が現れます。
3. 古い電池を取り出し、新しい単4電池2個を入れます❷。
4. 電池カバーを取り付けます。



古い電池を廃棄する場合は、電池の廃棄またはリサイクルに関する規制について、自治体または廃棄業者にお問い合わせください。

トラブルシューティング

この章では、起きうる問題とそれらへの対処に関するヒントを紹介します。この章の内容:

- 「トラブルシューティングのヒント」 71ページ
- 「プロジェクトのテスト」 81ページ

トラブルシューティングのヒント

このセクションを使用するには、発生した問題に最も近い例を探し、問題が解決するまで解決方法を1つずつ試してみてください。記載されているヒントで問題が解決しない場合は、HPまでご連絡ください。プロジェクトに付属する『サポートガイド』もご参照ください。このセクションの内容:

- 「始動時の問題」 72ページ
- 「画像の問題」 73ページ
- 「音声の問題」 77ページ
- 「停止の問題」 78ページ
- 「リモコンの問題」 79ページ
- 「ネットワークの問題」 79ページ

始動時の問題

ライトが点灯せず、音もしない場合:

- ❑ 電源ケーブルがプロジェクタにしっかり接続されており、ケーブルのもう一方の端が通電している電源コンセントに差し込まれていることを確認します。
- ❑ 主電源切断スイッチがオフ(0)でなくオン(1)になっていることを確認します。
- ❑ プロジェクタのカバーが閉まってラッチで固定されていることを確認します。
- ❑ 電源ボタンをもう一度押します。
- ❑ 主電源切断スイッチをオフにし、60秒後に再度オンにしてプロジェクタをリセットします。

プロジェクタは始動したが、画像が投影されない場合:

- ❑ レンズキャップが取り外されていることを確認します。
- ❑ ランプインジケータが点灯している場合は、ランプモジュールを交換するか取り付け直します。
- ❑ 温度インジケータが点灯している場合、プロジェクタをオフにしてクールダウンしてから再始動します。警告ライトがまた点灯する場合、HPにご連絡ください。

プロジェクタからカチカチ音がする場合、プロジェクタのランプが点灯せず、警告ライトが点灯する場合:

- ❑ プロジェクタのランプの温度が上がりすぎて点灯できません。プロジェクタをオフにしてクールダウンしてから再始動します。
- ❑ プロジェクタのランプの接続が不良です。プロジェクタの電源をオフにし、冷却するまで待ちます。その後、ランプモジュールを取り外して取り付け直します。
- ❑ プロジェクタのランプが寿命に達しています。ランプを交換してください。

画像の問題

スクリーンに画像が表示されないが、HPの起動画面は表示される場合:

- ❑ プロジェクタまたはリモコンの**source**ボタンを押します。
- ❑ ノートブックまたはデスクトップコンピュータのスクリーンセーバー機能をオフにします。
- ❑ コンピュータ接続の場合、ノートブックコンピュータの外部ビデオポートがオンになっていることを確認します。プロジェクタに付属するビデオポートカードを参照してください。例えば、一部のノートブックでは、**Fn + F4**ファンクションキーを押して外部ビデオポートをオンにする必要があります。
- ❑ 正しい入力ソースが接続されていることを確認します。オンスクリーンメニューを開き、**入力**を選択します。次に、機器が接続されている正しい入力ソースを設定します。
- ❑ 入力ポートの自動検出が使用可能になっていることを確認します。オンスクリーンメニューを開き、**セットアップ > ソースを有効にする**を選択します。
- ❑ 自動検出が使用可能になっていることを確認します。オンスクリーンメニューを開き、**入力 > ソースの自動検出**を選択します。

正しくない入力ソースが表示される場合:

- ❑ プロジェクタまたはリモコンの**source(ソース)**ボタンを押して、別のアクティブな入力ソースを選択します。
- ❑ 正しい入力ソースが接続されていることを確認します。オンスクリーンメニューを開き、**入力**を選択します。続いて、正しい入力ソースを設定します。
- ❑ 入力ポートの自動検出が使用可能になっていることを確認します。オンスクリーンメニューを開き、**セットアップ > ソースを有効にする**を選択します。
- ❑ 自動検出が使用可能になっていることを確認します。オンスクリーンメニューを開き、**入力 > ソースの自動検出**を選択します。

画像の焦点が合っていない場合:

- ❑ レンズキャップが取り外されていることを確認します。
- ❑ オンスクリーンメニューを表示しながら、フォーカスリングを調整します(画像の大きさは変化しないはずですが。変化する場合はフォーカスでなくズームを調整しています)。

- ❑ 投影スクリーンがプロジェクタから1.5～14 mの距離にあることを確認します。長焦点用追加レンズを使用している場合はこれより遠距離にもできます。
- ❑ コンピュータ接続の場合、コンピュータの表示解像度を1024×768に設定します。
- ❑ 投影レンズを見て、汚れていたら清掃します。

画像が上下逆または反転状態で表示される場合:

- ❑ プロジェクタの位置設定が間違っています。オンスクリーンメニューを開き、**セットアップ>プロジェクターの配置**を選択して、正しい設定を選択します。

画像が小さすぎるか大きすぎる場合:

- ❑ プロジェクタ上部にあるズームリングを調整します。
- ❑ プロジェクタが投影スクリーンから1.5～14 mの距離にあることを確認します。
- ❑ オンスクリーンメニューを開き、**画像調整 > 縦横比**を選択します。**自動調整**に設定します。ワイドスクリーン画像の場合は、縦横比を**16:9**に設定します。
- ❑ 詳細については、57 ページの「追加レンズを取り付けるには」を参照してください。

画像に台形歪みがある場合:

- ❑ プロジェクタができるだけスクリーンの中央に位置し、スクリーンの下端または上端と同じ高さになるように調節します。
- ❑ オンスクリーンメニューを開き、**画像調整 > キーストーン補正**を選択します。必要に応じて水平または垂直設定を調整します。

表示画像がスクロールしたり切れたりする場合:

- ❑ プロジェクタまたはリモコンの**auto-sync(自動同期)**ボタンを押します。
- ❑ ズーム機能がオンになっている場合は、**enter**を押してズームをキャンセルします。
- ❑ コンピュータ接続の場合は、すべての電源をオフにしたあと、まずプロジェクタをオンにしてからノートブックまたはデスクトップコンピュータの電源をオンにします。
- ❑ コンピュータ接続の場合、上記の手順で表示画像が直らなかった場合、ノートブックまたはデスクトップコンピュータの解像度を1024×768に調整します。

画像が点滅したり不安定になったりする場合:

- ❑ プロジェクタのパネルまたはリモコンの**auto-sync(自動同期)**ボタンを押します。
- ❑ コンピュータ接続の場合、表示解像度を1024×768に設定します。
- ❑ オンスクリーンメニューを開き、**画像調整 > 詳細画像設定**を選択します。**周波数**または**トラッキング**を調整します。

画像が引き伸ばされている場合:

- ❑ オンスクリーンメニューを開き、**画像調整 > 縦横比**を選択し、**自動調整**に設定します。ワイドスクリーン画像の場合は、縦横比を**16:9**に設定します。または、縦横比を**1-to-1**に設定します。

コンピュータ画面から画像が消える場合:

- ❑ ノートブックコンピュータでは、外部VGAポートと内蔵画面の両方をオンにできる場合があります。コンピュータのマニュアルまたはプロジェクタのビデオポートガイドを参照してください。
- ❑ デスクトップコンピュータの場合、プロジェクタのVGA出力ポートにモニタを接続する方法があります。

投影画像の色がわずかに違って見える場合:

- ❑ プロジェクタのビジネスグラフィックスボタンが点灯している場合、プロジェクタまたはリモコンのシアタービデオボタンを押してみます。
- ❑ オンスクリーンメニューを開き、**画像調整 > 詳細画像設定**を選択します。必要に応じて詳細設定を変更します。
- ❑ オンスクリーンメニューを開き、**画像調整 > カラースペース**を選択します。選択を変更します。
- ❑ オンスクリーンメニューを開き、**ヘルプ > 診断テスト**を選択します。カラーテストを実行します。

投影画像の色が全く違って見える場合:

- ❑ プロジェクタのスーパーブライต์ボタンが点灯している場合、画像はグレースケールで表示されています。カラーを表示するには、プロジェクタまたはリモコンのビジネスグラフィックスボタンまたはシアタービデオボタンを押します。
- ❑ YPbPrまたはRGB入力装置の場合は、ビデオコネクタがすべて正しく対応していることを確認します。
- ❑ ケーブルコネクタのピンが曲がったり折れたりしていないことを確認します。
- ❑ オンスクリーンメニューを開き、**画像調整 > カラースペース**を選択します。選択を変更します。
- ❑ オンスクリーンメニューを開き、**ヘルプ > 診断テスト**を選択します。カラーテストを実行します。
- ❑ 画像設定をデフォルトの設定に戻します。以下の問題を参照してください。

画像設定が完全に間違っており、修正できない場合:

- ❑ 投影設定をデフォルトの設定に戻します。デフォルト設定に戻すには、プロジェクタの**back**、**up-arrow**、**auto sync**ボタンを同時に5秒間押し続けます(この操作を行ってもネットワーク設定はリセットされません)。

DVIデバイスで画面にエラーメッセージや無意味な画像が表示される場合:

- ❑ 高品位デジタルソースの一部には、HDCP(High-bandwidth Digital-Content Protection)によるコンテンツ保護が組み込まれています。この種のコンテンツはこのプロジェクタでは表示できません。装置にYPbPrなどの別の出力ポートがある場合、そちらをプロジェクタに接続してみてください。

特定の入力に対してVGAモニタに不良画像が表示される場合:

- ❑ ある種のVGAモニタをVGA出力ポートに接続した場合、コンピュータのグラフィックス入力は正常に表示されますが、ビデオ入力に対しては空白または無意味な映像が表示されます。この場合、別の種類のモニタを使用してください。

プロジェクタがすべての操作に応答しない場合:

- ❑ 可能ならプロジェクタをオフにします。主電源切断スイッチをいったんオフにして、60秒後にプロジェクタの電源をオンにします。

音声の問題

プロジェクタから音が全く出ない場合:

- プロジェクタと入力デバイスがオーディオケーブルで確実に接続されていることを確認します。
- コンピュータ、DVDプレーヤ、ビデオカメラなどの入力装置のミュートや音量の設定が正しいことを確認します。
- オンスクリーンメニューを開き、**オーディオ**を選択します。以下の設定を確認します。
 - ◆ ミュートがオフになっている。
 - ◆ 音量設定が正しい。
 - ◆ 内蔵スピーカーがオンになっている。
 - ◆ オーディオ入力の選択でビデオポートに合った正しいオーディオ入力を選択されている。

プロジェクタのスピーカが外部オーディオシステムと干渉する場合:

- オンスクリーンメニューを開き、**オーディオ > 内蔵スピーカ**を選択し、内蔵スピーカを無効にします。

停止の問題

プロジェクタが突然シャットダウンし、温度ライトが点灯した場合:

- ❑ 温度ライトが点滅している場合、ファンが動作していません。プロジェクタを数分間冷却してください。
- ❑ 温度ライトが常時点灯している場合、プロジェクタが過熱しています。プロジェクタを数分間冷却してください。
- ❑ 通気が妨げられている場合、障害物を取り除きます。
- ❑ 可能なら、大きな熱源を部屋から取り除きます。
- ❑ プロジェクタを再始動しても同じ状態になる場合は、修理が必要です。HPまでご連絡ください。

プレゼンテーション中にランプが消える場合:

- ❑ 小さな電源サージのためにランプが消える場合があります。数分間待ってからプロジェクタをオンにしてください。
- ❑ ランプモジュールが切れている可能性があります。ランプモジュールを交換してください。

ランプが切れるか、破裂音をする場合:

- ❑ ランプが寿命に達すると、切れて破裂音を発する場合があります。この場合、ランプモジュールを交換しないとプロジェクタをオンにすることはできません。
- ❑ ランプが割れた場合、修理が必要な可能性があるためHPまでご連絡ください。

リモコンの問題

リモコンが動作しない場合:

- ❑ ボタンを押したときにリモコン前部のインジケータライトが点滅すれば、リモコンは正しく動作しています。
ライトが点滅しない場合は、リモコンに新しい単4電池2個を装着してください。
- ❑ プロジェクタ前面と背面にある赤外線受光部が何かで覆われていることを確認してください。プロジェクタから9 m以内の距離に近づいてください。
- ❑ オンスクリーンメニューを開き、**ヘルプ > 診断テスト**を選択します。
リモコンのテストを実行します。

マウスとページアップ/ページダウンキーだけが動作しない場合:

- ❑ プロジェクタとコンピュータがUSB接続されていることを確認します。
- ❑ オンスクリーンメニューを開き、**ヘルプ > 診断テスト**を選択します。
リモコンのテストを実行します。

ネットワークの問題

ウェブ経由でプロジェクタにアクセスできない場合:

- ❑ 正しい IP アドレスを使用していることを確認します。プロジェクタの IP アドレスは、プロジェクタのオンスクリーンメニューに表示されます。
- ❑ プロジェクタとネットワークコンセントのケーブル接続を確認します。
- ❑ プロジェクタの LAN ポートの左のインジケータライトを調べます。
ライトが点灯していない場合、ネットワークがアクティブでない可能性があります。ケーブルを交換するか、コンピュータを使ってネットワークコンセントを確認してください。
- ❑ L1581A拡張接続モジュール搭載のモデルの場合は、L1581Aの付属マニュアルを参照してください。
- ❑ オンスクリーンメニューに表示されるプロジェクタの IP アドレスが 169.254.x.xかどうかを調べます。プロジェクタがDHCPサーバを使用するように設定されている場合は、このアドレスはDHCPサーバが見つからなかったことを示します。プロジェクタがDHCPサーバを使用

しない場合は、このアドレスはプロジェクトにIPアドレスが設定されていないことを示します。ネットワーク管理者に適切なTCP/IPネットワーク設定を問い合わせ、プロジェクトを設定してください。

プロジェクトのWeb管理者パスワードを忘れた場合:

- ❑ プロジェクトのネットワーク設定をデフォルト値に戻します。デフォルト値に戻すには、プロジェクトをオフにします。続いて、先端をまっすぐに伸ばしたペーパークリップを接続モジュールパネルの小さな穴に差し込みます。穴の内側にある小さなボタンを押しながら、メイン切断スイッチをいったんオフにしてから再度オンにします。ボタンは15秒以上押し続けてください。

ウェブ経由でプロジェクトにアクセスできるが、ホームページ以外にアクセスできない場合:

- ❑ WebインタフェースがWeb管理者によって保護されています。管理者に連絡してください。

ネットワーク設定が完全に間違っており、修正できない場合:

- ❑ プロジェクトのネットワーク設定をデフォルト値に戻します。デフォルト値に戻すには、プロジェクトをオフにします。続いて、先端をまっすぐに伸ばしたペーパークリップを接続モジュールパネルの小さな穴に差し込みます。穴の内側にある小さなボタンを押しながら、メイン切断スイッチをいったんオフにしてから再度オンにします。ボタンは15秒以上押し続けてください。

プロジェクタのテスト

オンスクリーンメニューにある診断テストを使って、プロジェクタとリモコンの動作が正しいかどうかを検証できます。

プロジェクタ診断テストを実行するには

1. オンスクリーンメニューを開き、**ヘルプ > 診断テスト**を選択します。
2. 実行するテストを選択します。

リファレンス

この章には、プロジェクタの仕様、安全情報、規制情報を記載します。この章の内容:

- 「仕様」 83ページ
- 「安全情報」 90ページ
- 「規制情報」 92ページ

仕様

HPでは常に製品の改良に努めており、以下の仕様は変更される可能性があります。最新の仕様については、HPウェブサイト<http://www.hp.com/jp>をご覧ください。

プロジェクタ仕様の説明

輝度	xp8010: ビジネス グラフィックス: 2200 ANSIルーメン、2600 ANSI (最大) ルーメン 超輝度: 3850 ANSIルーメン、4600 ANSI (最大) ルーメン xp8020: ビジネス グラフィックス: 2350 ANSIルーメン、3000 ANSI (最大) ルーメン 超輝度: 3700 ANSIルーメン、4400 ANSI (最大) ルーメン
解像度	XGA
投影方式	DLP
コントラスト比	800:1 (代表値)

プロジェクト仕様の説明 (続き)

ビデオコネクタ	M1-DAグラフィックス (オプションでVGA、DVI、SCART用のM1-DAケーブルを用意) VGA 1入力 VGA 2入力 VGA出力 Sビデオ入力 コンポジットビデオ入力 (RCA×1) コンポーネントビデオ入力 (RCA×3) アナログBNC入力 (BNC×5)
オーディオコネクタ	各ビデオ入力に対応するオーディオコネクタ ステレオオーディオ出力
入出力コネクタ	USBタイプB、コンピュータ制御用 リモコンケーブル入力 12 V出力、モータスクリーン制御用
接続モジュールコネクタ	LAN (RJ45) RS-232 拡張接続モジュールのみ: コンパクトフラッシュ用スロット (Type II) × 2、USB 1.1 Type A* × 2、ミニプラグマイク入力端子 * 予約
赤外線受光部	前面と背面、リモコン用
ケーブルカバー	付属
サイズ	442×302×139 mm、ハンドル、フォーカスリング、脚を含む
重量	6 kg

プロジェクタ仕様の説明 (続き)

レンズ	標準:投影比1.98:1～2.38:1 (距離/幅) アクセサリ: 短焦点:1.56:1～1.88:1 長焦点:2.35:1～2.81:1
光学ズーム	1.2:1
デジタルズーム	あり
キーストーン	垂直方向±40° まで 水平方向±17° まで
オーディオ	密閉された共振音響室で5 Wピークステレオ
ランプ	xp8010:250 W P-VIPランプ、1.3 mmアーク xp8020:300 W P-VIPランプ、1.3 mmアーク 定格寿命2000時間 ランプセーバーモードではランプ電力が20%削減されます。 交換用ランプ: L1582A (xp8010)、L1583A (xp8020)
ライトエンジン	0.7 12° DDR DMD XGA
カラーシステム	2つの色相環による以下の3つのモード: ビジネスグラフィックス シアタービデオ 超輝度グレースケール
リモコン	USBマウス機能とレーザーポインタを装備 ケーブル接続をサポート
設置方法	天井/卓上、フロント/リアプロジェクション
セキュリティ	ケンジントンロック使用可能
電源	100～120 V、200～240 V、50～60 Hz 日付と時刻はバッテリーバックアップ付き

プロジェクト仕様の説明 (続き)

騒音レベル	xp8010: 32 ± 2 dBA xp8020: 36 ± 2 dBA
環境	稼働時: 温度: 10 ~ 35°C 湿度: 相対湿度 最大80%、結露がないこと 高度: 3,000m、25°Cまで 保管時: 温度: -20 ~ 55°C 湿度: 相対湿度 最大80%、結露がないこと 高度: 12,000 mまで

アナログビデオモード互換性

互換性	解像度	垂直同期周波数 (Hz)	水平同期周波数 (kHz)
VGA	640 × 350	70	31.5
	640 × 350	85	37.9
	640 × 400	85	37.9
	640 × 480	60	31.5
	640 × 480	72	37.9
	640 × 480	75	37.5
	640 × 480	85	43.3
	720 × 400	70	31.5
	720 × 400	85	37.9
	800 × 600	56	35.2
SVGA	800 × 600	60	37.9
	800 × 600	72	48.1
	800 × 600	75	46.9

アナログビデオモード互換性

互換性	解像度	垂直同期周波数 (Hz)	水平同期周波数 (kHz)
	800 × 600	85	53.7
XGA	1024 × 768	60	48.4
	1024 × 768	70	56.5
	1024 × 768	75	60.0
	1024 × 768	85	68.7
SXGA	1280 × 1024	60	63.98
	1280 × 1024	75	79.98
SXGA+	1400 × 1050	60	63.98
UXGA	1600 × 1200	60	75
UXGA	1600 × 1200	75	93.75
MAC LC 13	640 × 480	66.66	34.98
MAC II 13	640 × 480	66.68	35
MAC 16	832 × 624	74.55	49.725
MAC 19	1024 × 768	75	60.24
MAC	1152 × 870	75.06	68.68
MAC G4	640 × 480	60	31.35
MAC G4	640 × 480	120	68.03
MAC G4	1024 × 768	120	97.09
i Mac DV	640 × 480	117	60
i Mac DV	800 × 600	95	60
i Mac DV	1024 × 768	75	60
i Mac DV	1152 × 870	75	68.49

アナログビデオモード互換性

互換性	解像度	垂直同期周波数 (Hz)	水平同期周波数 (kHz)
i Mac DV	1280 × 960	75	75
i Mac DV	1280 × 1024	75	90.9

デジタルビデオモード互換性

互換性	解像度	垂直同期周波数 [Hz]	水平同期周波数 [kHz]
VGA	640 × 350	70	31.5
	640 × 350	85	37.9
	640 × 400	85	37.9
	640 × 480	60	31.5
	640 × 480	72	37.9
	640 × 480	75	37.5
	640 × 480	85	43.3
	720 × 400	70	31.5
SVGA	720 × 400	85	37.9
	800 × 600	56	35.2
	800 × 600	60	37.9
	800 × 600	72	48.1
	800 × 600	75	46.9
XGA	800 × 600	85	53.7
	1024 × 768	60	48.4
	1024 × 768	70	56.5
SXGA	1024 × 768	75	60.0
	1280 × 1024	60	63.98

デジタルビデオモード互換性

互換性	解像度	垂直同期周波数 [Hz]	水平同期周波数 [kHz]
	1280 × 1024	75	79.98
SXGA+	1400 × 1050	60	63.98
UXGA	1600 × 1200	60	75

安全情報

安全上の注意

- 目の損傷防止のため、ランプが点灯しているあいだは、レンズをのぞかないでください。また、レーザ光線は絶対に目に向けしないでください。
- 感電防止のため、プロジェクタを雨や湿気にさらさないでください。マニュアルで指示されている場合を除き、プロジェクタのケースを開けないでください。
- マニュアルの指示でカバーを外し、内部コンポーネントに触る場合は、プロジェクタの温度が下がるまでお待ちください。
- 火災防止のため、プロジェクタのレンズの周囲に紙類などの可燃物を置かないでください。
- 製品ラベルに記載された電圧および電流定格に適合する電源コードのみを使用してください。コンセントや延長コードに負荷をかけすぎないでください。

レーザの安全性

リモコンのレーザポインタは、米国保健福祉省のRadiation Performance Standardおよび国際標準IEC 825/IEC 825-1(EN60825/EN60825-1)に基づいて、クラス2レーザ機器に認定されています。この機器は無害とされていますが、以下の注意事項を守ることを推奨します。

- 説明書をよく読んで正しい使用法を守ってください。
- 機器の修理が必要な場合は、HPの正規サービスセンターにご依頼ください。
- 機器の調整はいっさい行わないでください。
- レーザ光線を人に直接当てることは避けてください。

LEDの安全性

デジタルプロジェクタとリモコンの赤外線ポートは、国際標準IEC 825-1(EN60825-1)に基づいて、クラスI LED機器に分類されています。この機器は無害とされていますが、以下の注意事項を守ることを推奨します。

- 機器の修理が必要な場合は、HPの正規サービスセンターにご依頼ください。
- 機器の調整はいっさい行わないでください。
- LEDの光線を目に直接当てることは避けてください。光線は目に見えないので注意してください。
- 何らかの光学機器を通して赤外線LEDの光線を見ることは避けてください。

水銀の安全性



警告: このデジタルプロジェクタのランプには、少量の水銀が含まれています。ランプが破損した場合は、破損が起きた部屋を十分に換気してください。ランプの廃棄は、環境汚染防止のために法律で規制されている可能性があります。廃棄またはリサイクルの方法については、各自治体または電子工業会(<http://www.eiae.org>)にお問い合わせください。

規制情報

この項には、一部地域の規制にデジタルプロジェクタがどのように適合するかを記載します。HPの明示的な承認なしにデジタルプロジェクタを改変した場合、これらの地域でデジタルプロジェクタを使用する権利がなくなるおそれがあります。

日本

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。

取り扱い説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

国際

規制に関する識別のため、製品には規制モデル番号が付与されています。お使いの製品の規制モデル番号は、下の宣言の表に記載されています。この規制番号は、販売上の名称や製品番号とは異なります。

製造者名 製造者所在地	適合宣言 ISO/IECガイド22およびEN 45014に基づく HewlettPackard Company HewlettPackard Company Digital Projection & Imaging 1000 NE Circle Blvd. Corvallis, OR 97330-4239
上記は、下記製品:	
製品名:	デジタルプロジェクト
モデル番号:	xp8010 and xp8020
規制モデル:	CRVSB-03CA and CRVSB-04CA
が、以下の製品仕様に適合することを宣言します。	
安全性:	IEC 60950:1999/ EN 60950:2000 IEC 60825-1:1993 +A1 / EN 60825-1:1994 +A11クラス1 LED GB4943-1995

EMC: EN 55022:1998 クラス B [1]
 CISPR 24:1997 / EN 55024: 1998
 IEC 61000-3-2:1995 / EN 61000-3-2:2000
 IEC 61000-3-3:1994 / EN 61000-3-3:1995+A1:2001
 GB9254-1998
 FCCタイトル47 CFR、パート15クラスB/ANSI C63.4:1992
 AS/NZS CISPR 22:2002

補足情報:

本製品はこれにより、下記指令の要件を満たし、これに基づいてCEマーキングを掲示しています。

-低電圧指令:73/23/EEC

-EMC指令:89/336/EEC

[1] 本製品は、Hewlett Packardパーソナルコンピュータ周辺機器による代表的構成によって試験されています。

本機器はFCC規則のパート15に適合します。動作は以下の2つの条件に従います。(1) 本機器が有害な干渉を生じないこと、および(2) 本機器が、望ましくない動作を引き起こすおそれがあるものを含めて、あらゆる干渉を受け入れること。

Corvallis, Oregon, March 1, 2004



Steve Brown, General Manager

規制事項に関する欧州の連絡先: Hewlett Packard GmbH, HQ-TRE, Herrenberger Straße 140, 71034 Boeblingen, Germany.(FAX:+49-7031-143143).

米国の連絡先:Hewlett Packard Co., Corporate Product Regulations Manager, 3000 Hanover Street, Palo Alto, CA 94304. Phone: (650) 857-1501.

D

DVDの接続

- YPbPrポートによる 48
- 入力ソースの接続も参照

H

hideボタン 50

I

IPアドレス

- 調べる 53
- 設定 35

L

LEDの安全性

- 注意事項 91

S

SMTP

- 電子メールを参照

T

TCP/IP

- ネットワークを参照

あ

アクセサリ

- リスト 16

アップグレード

- 追加レンズの取付けを参照
- ファームウェアのアップデートを参照

アナログビデオモード

- 互換性 86

アラート

- 電子メールを参照

安全情報

- LED 91

注意事項 90

- レーザの安全性 90

イベント

- 電子メールを参照

ウェブ

- プロジェクトへのアクセス 41, 54

オーディオ

- 接続 27, 43
- 調整 39

オフにする 25

- 接続の解除 51

オンスクリーンメニュー

- オーディオメニューの説明 66
- 画像調整メニューの説明 64
- クイックセレクトメニューの説明 62
- 使用方法 34
- セットアップメニューの説明 66
- 入力メニューの説明 62
- ヘルプメニューの定義 67

音声

- オーディオを参照

オンにする 24

か

画像

- 調整 40

画像モード

- 説明 40
- 変更 26, 40

下部取付けブラケット

- 天井設置を参照

管理者アカウント

- 設定を参照

規制情報

EU 93

日本 92

米国 92

距離

設置場所と画像サイズ 17

レンズも参照

グラフィックスモード

画像モードを参照

携帯端末

接続 45

ケンジントンロック 36

固定

ロック 36

コンピュータ

接続 27, 43

コンピュータの接続

M1-DVIによる 28, 47

M1-VGAによる 27, 28, 44, 46

さ

シアタービデオモード

画像モードを参照

出力装置の接続

モニターとスピーカ 32

仕様

プロジェクタの 83

焦点

調整 39

範囲 39

使用方法 50

水銀 70

ズーム

調整 39

範囲 39

ステータス

ウェブ表示 54

オンスクリーンメニューの表示 68

接続

バックパネルを参照

接続の解除

プロジェクタ 51

接続モジュール

挿入 59

取外し 59

設置場所

選択 17

卓上設置も参照

天井設置も参照

リアプロジェクション設置も参照

設定

オンスクリーンメニューを使用 34

管理者アカウント 55

保護 55

挿入

設置場所を参照

ソース

接続 27, 43

変更 50

た

卓上設置

セットアップ 18

超輝度モード

画像モードを参照

調整

ウェブから 41

追加レンズ

挿入 57

範囲 57

通知

電子メールを参照

デジタルビデオモード

互換性 88

テスト

診断 81

電源

オフにする 25

- オンにする 24
- 接続 23
- 電子メール
 - 通知の設定 55
- 天井設置
 - セットアップ 18
- 天井取付け 19
- 天井取付けブラケット
 - 天井設置を参照
- トラブルシューティング
 - 音声の問題 77
 - 画像の問題 73
 - 始動時の問題 72
 - 停止の問題 78
 - ヒント 71
 - リモコンの問題 79
- な**
- 内蔵ウェブサーバ 53
- 内容物
 - 箱の 8
- 入出力コネクタ
 - バックパネルを参照
- 入力ソースの接続
 - M1-VGAケーブルでコンピュータと 28, 46
 - M1ケーブルでコンピュータのDVIと 28, 47
 - RGa機器 31
 - RGBC機器 31
 - RGBHV機器 32
 - SCART装置 30
 - VGAケーブルでコンピュータと 27, 44
 - トリプルRCAケーブルでDVDまたはHDTVと 30
 - ビデオケーブルでビデオデッキと 29, 48
- ネットワーク
 - 詳細 54
 - 接続 35

- 設定 54
- トラブルシューティング 35
- ネットワークアクセス
 - 接続 35
- は**
- 背面投影用の設置
 - セットアップ 21
- パスワード
 - 設定 55
 - 無効化 55
- バックパネル
 - 説明 12
- ビジネスグラフィックスモード
 - 画像モードを参照
- ビデオ
 - 接続 27, 43
- ビデオモード
 - 画像モードを参照
- ファームウェア
 - ネットワークからのアップデート 56
- プレゼンテーション
 - コンピュータから 49
 - ソースの変更 50
- プロジェクタ
 - 各部分の説明 10
 - メンテナンス 68
- プロジェクタの固定
 - ロックの取付け 36
- プロジェクタの投影位置の調整
 - 上げ下げ 38
- ボタン
 - プロジェクタ 11
 - リモコン 14
- ま**
- メニュー
 - オンスクリーンメニューを参照
- メンテナンス
 - 日常のメンテナンス 68

ら

ライト

説明 11

ランプモジュール

交換 69

リアパネル

バックパネルを参照

リセット

投影設定 76

ネットワーク設定 80

プロジェクタ 26

リモコン

延長器 33

カバーを閉じた状態の説明 14

カバーを開いた状態の説明 15

使用方法 25

電池交換 70

リモコン延長器 33

レーザーの安全性

注意事項 90

レーザーポインタ 25

レンズ

清掃 68

挿入 57

損傷 68

範囲を調べる 57

ロック 36